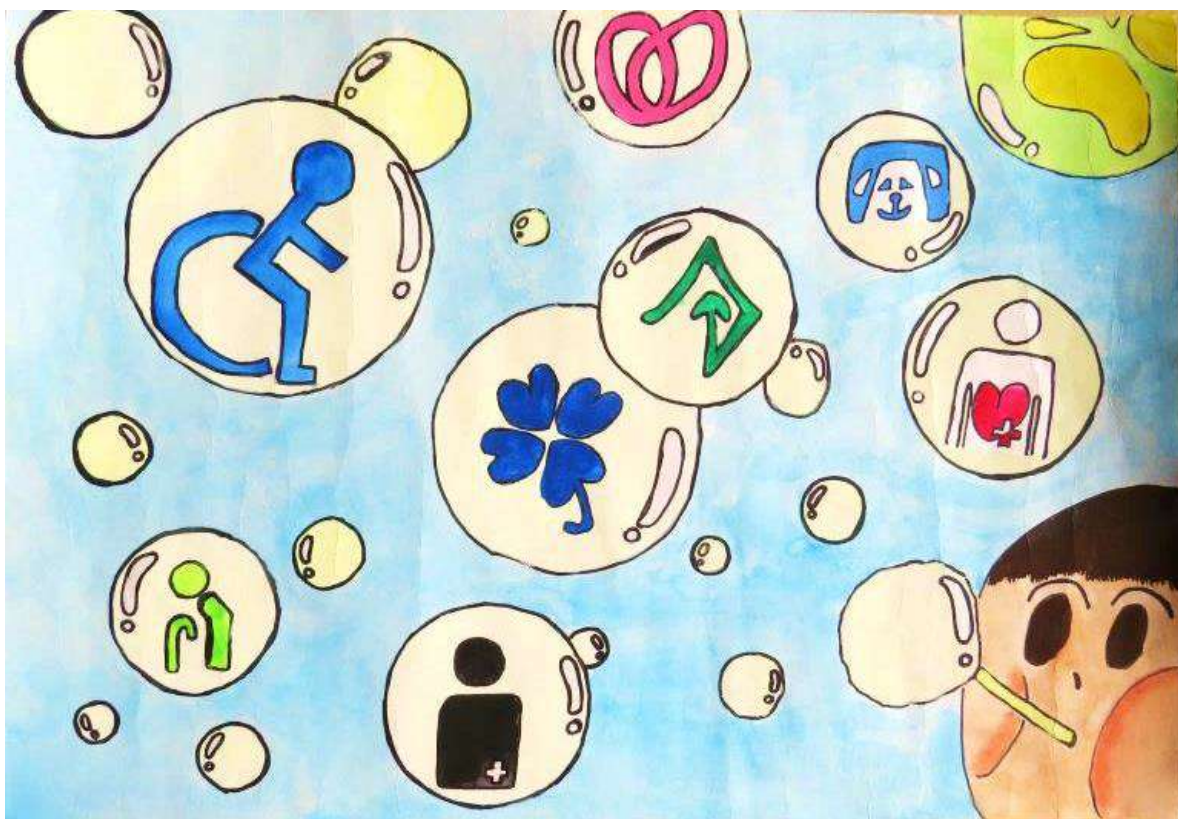


平成 27 年度
事業報告書



平成 27 年度福祉絵画コンクール小学高学年の部金賞受賞作品

テーマ：「みんな知ってる？このマーク」

作者：日の里東小学校 井上 和香

社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

～もくじ～

1	平成 27 年度事業計画重点項目に関する総括	…	2
2	法人運営に関する業務	…	3
3	ともにいきるまち宗像” 推進事業の充実	…	5
4	広報広聴活動の推進	…	13
5	高齢者福祉事業の推進	…	15
6	障がい児者福祉事業の推進	…	16
7	低所得者福祉事業の推進	…	18
8	子育て子育て・母子寡婦福祉支援事業の推進	…	19
9	福祉教育の推進	…	21
10	活動財源の確保	…	26
11	ボランティア活動・市民活動の促進	…	28
12	赤い羽根共同募金運動への協力	…	32
13	障害者生活支援センター運営事業	…	33
14	大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業	…	38
15	介護保険事業の適切な運営	…	39
16	指定障害サービス事業の適切な運営	…	40
17	市受託事業の適切な運営	…	40
18	スマイルハート事業	…	41
19	発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業	…	41
■	資料集	…	45

1 平成 27 年度事業計画重点項目に関する総括

(1) 第 4 次地域福祉活動計画に基づく本会経営・事業の実施（計画年度：平成 27～36 年度）

- 昨年 3 月に本会長へ答申された第 4 次地域福祉活動計画（以下「第 4 次計画」という。）が、5 月の理事会にて承認された。これにより 10 月から第 4 次計画が施行されたため、実施初年度に定められた事業の遂行に努めた。

(2) 誰もが安心して暮らせる地域社会づくりの一助。ライフサポート事業

- ライフサポート（地域福祉権利擁護）事業が 3 年目を迎え、人材確保やサービス提供の方法など、この事業の課題が明らかになってきたため、この事業の改善と充実に努めた。
- 「第 4 次計画」に基づくライフサポート事業の検討事項として、成年後見制度とライフサポート（地域福祉権利擁護）事業、高齢者や障がいがある人への虐待防止事業を包括的に行う「地域福祉権利擁護センター（仮称）」の設置について、宗像市と検討を進めた。

(3) 地域の福祉課題を解決するための「ともにいきるまち宗像（仮称）」事業の推進

- 「第 4 次計画」に基づく「今日の小地域福祉活動のあり方」に基づいた小地域福祉活動（小地域ネットワーク活動やいきいきふれあいサロン等）を推進するとともに、今後の小地域ネットワーク活動やいきいきふれあいサロンの推進に大きく影響すると考えられる「介護予防・日常生活支援総合事業」について研修などを行った。
- 介護予防止いきいき交流会事業（市委託事業）の拡充については、宗像医師会と協働して「大島 DE いきいき元気教室」ならびに「地島ミニデイサービス事業」を推進した。
- 社会的包摂による子どもから大人までの福祉教育を推進するため、認知症の人やその家族への理解と支援を得るための認知症サポーター養成講座や認知症サポーターステップアップ講座を実施。また知的・精神・発達障がいがある人やその家族への理解と支援を得るため「見えにくい障害を理解する研修」等の福祉教育実践プログラムを積極的に展開した。

(4) 本会らしさを創造・維持するための自主財源の確保とその実験的事業の展開

- 補助金・委託金依存型の経営体質を改善するため、ファンドレイジング（地域福祉的資金調達技法）による寄付付き商品を主とした自主財源確保として「社協自販機の運営」「有料バナー広告」の実施、その他チャリティーボウリング大会や共同募金運動への協力などを行った。

(5) 障害者生活支援センターならびに障害者虐待防止センター事業の充実

- 平成 28 年 4 月から実施される障害者差別解消法については、本会が受託している障害者生活支援センターや障害者虐待防止センター事業経営に影響するため、職員研修を行うとともに、市が定めた「宗像市における障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応規程」に対処できるよう努めた。
- 障害者生活支援センターは、基幹型相談支援事業所でもあるため、一般相談支援事業所が作成する「支援計画」の質の向上を図るため、指導・支援内容の充実に努めるとともに、指導・支援する本会職員の資質の向上もあわせて行った。
- 障害者虐待防止センター事業については、関係事業所や市民への周知が不足しているため、障害者虐待防止研修会の実施やパンフレットの充実に努めた。

(6) 高齢者や障がい者への介護サービス事業経営の安定化とご利用者様へのサービスの充実

- 平成 27 年度介護保険制度改正による本会への影響として、訪問介護事業の介護報酬単価の減額と、要支援者が訪問介護予防給付対象から外れる利用者が増えたことなどで、収益が前年度より減額となった。

- 年々、訪問介護サービスの利用者が減少する中、常勤日勤職員を非常勤日勤化することで人件費の削減に努めた。また、同様に人件費を抑えるために、登録職員の人員確保をハローワークや広告等で募集を行ったが応募はなかった。特に、在宅を支援する介護職の確保は、一事業所で解決できる問題ではない状況となっている。

(6) 宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の経営改善とご利用者様へのサービスの充実

- 相談から個別支援計画に至るまで、サービス利用計画が円滑に行われるように、発達支援センターとケースについて密に情報交換を行うよう努めた。また、業務やケースにおける検討事項については、その都度発達支援センターに報告し、状況により協議しながら業務遂行を行った。
- 他施設の視察研修や情報交換等を行うことで、地域の療育や障害児への支援の取り組み状況を把握し、本市における本園の役割を確認した。また、児童福祉法に関する制度や事業運営に関する知識と理解を深めることに努めた。
- 他施設の視察研修により、他施設での療育の取り組みについて学び、本園での療育内容のさいけんとうを図った。また、研修等に参加することで新たな療育支援の考え方や方法について学び、知識を広げることに努めた。
- 園児や保護者への対応の仕方と、検査結果や療育支援内容の説明において、分かりやすく的確な伝え方について、スタッフ会議の中で検討を行い、資質向上に努めた。

2 法人運営に関する事業

(1) 本会の運営に関する事業

①理事会の開催 2回開催 14議案(第7号は書面決議)

開催時期・会場	議案番号	議案	議決(承認)月日
第1回 ■5月28日 ■メイトム宗像 201会議室	第1号	評議員の同意について	5月28日
	第2号	定款の一部改正について	
	第3号	定款施行細則の一部改正について	
	第4号	平成26年度事業報告について	
	第5号	平成26年度決算報告ならびに監査報告について	
	第6号	第4次地域福祉活動計画について	
書面決議	第7号	評議員の同意について	7月22日
第2回 ■3月31日 ■メイトム宗像 203会議室	第8号	評議員の同意について	3月31日
	第9号	職員給与規程の一部改正について	
	第10号	宗像市障害児通園事業所指定児童発達支援事業運営規程の一部改正について	
	第11号	ライフサポート事業運営規程の一部改正について	
	第12号	特定個人情報取扱規程について	
	第13号	平成28年度事業計画(案)について	
	第14号	平成28年度事業予算(案)について	

②評議員会の開催 2回開催 7議案(第5号は書面決議)

開催時期・会場	議案番号	議案	議決(承認)月日
第1回 ■5月28日 ■メイトム宗像 202会議室	第1号	理事の選任について	5月28日
	第2号	定款の一部改正について	
	第3号	平成26年度事業報告について	
	第4号	平成26年度決算報告ならびに監査報告について	
書面決議	第5号	理事の選任について	7月22日

第2回 ■3月31日 ■メイトム宗像 202会議室	第7号	平成28年度 事業予算(案)について	3月31日
	第6号	平成28年度 事業計画(案)について	

(2) 定款・諸規程の整備

- 定 款：定款の一部改正（平成27年5月28日）
定款施行細則の一部改正（平成27年5月28日）
- 諸規程：職員給与規程の一部改正（平成28年3月31日）
宗像市障害児通園事業所指定児童発達支援事業運営規程の一部改正について
（平成28年3月31日）
ライフサポート事業運営規程の一部改正（平成28年3月31日）
特定個人情報取扱規程について（平成28年3月31日）

(3) 経営戦略会議の開催

- 事業説明：本会の運営に関する諸事項について基本的の方針を検討・決定する会議。
- 出席者数：会長・常務理事・事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長
- 開催時期：毎月第4火曜日

(4) 計画的な職員研修の開催

- 事業説明：社会福祉の現場で働く職員として、必要な人権や接遇等の研修を行っている。

実施事業	実施時期	主な活動内容
新規採用職員研修	■4月1～10日 ■メイトム宗像 204会議室	対象者：4月1日新規採用職員 出席者数：1人（正規職員1人） 内 容：社会福祉協議会や地域福祉、本会諸規程や担当事業に関する事業（職務）等について
安全運転管理者講習会	■6月16日 ■宗像ユリックス	対象者：福祉企画課長・居宅介護課長 出席者数：2人 内 容：道路交通法に定められた正副安全運転管理者の講習会。
職員安全運転研修会	■1月20日 ■メイトム宗像 202会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上 出席者数：30人 講 師：後藤弥太郎さん リスクサーチ福岡代表 内 容：過去の交通事故のデータに基づき、事故が起きやすい状況の把握や改正道路交通法に基づく法令や罰則等について
職員人権研修会	■3月16日 ■メイトム宗像 202会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上。宗像市役所職員 出席者数：40人 演 題：障害者差別解消法・合理的配慮とは 講 師：寺島正博（福岡県立大学人間社会学部講師・博士） 内 容：平成28年4月から実施される「障害者差別解消法」や同法による「合理的配慮」について、障がい者本人や家族等への権利侵害や権利擁護等の観点から人権学習として職員研修を行った。

(5) 定例監査の実施

- 事業説明：法人の適切な経営を行うため、年3回定期的に監査員による会計等の監査を実施。監査の結果については、年度の第1回理事会・評議員会にて結果を公表している。

(6) 労働安全衛生委員会の実施

- 事業説明：本会の労働安全衛生や労働環境に関する諸事項について、基本的の方針を検討・決定する会議。
- 出席者数：事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長・衛生管理者・部門別代表等 計 10 人
- 開催時期：偶数月第 2 金曜日

(7) 法人事務等の IT 化の推進と管理

- 事業説明：一部の部署でウイルス感染と考えられる IT トラブルが発生したため、セキュリティの強化を図り、他部署への感染拡大を予防した。

(8) 第 4 次地域福祉活動計画の策定

- 事業説明：第 4 次計画答申書の作成と計画書の製本化など
- 実施方法：昨年 3 月に本会長へ答申された第 4 次計画が、5 月の理事会にて承認された。7 月には計画書の製本化を行い、本会理事・評議員と関係各所に送付するとともに、本会ホームページへのアップロードを行った。
※評議員には、同じく 5 月の評議員会にて報告した。
- 成果物：第 4 次地域福祉活動計画書

3 “ともにいきるまち宗像” 推進事業の充実

(1) 福祉会組織化・育成事業

①福祉会組織化・育成事業

■福祉会とは

福祉会は、自分の住んでいる地域を住民の手で（＝参画・協働）誰もが生活しやすいように（＝共生社会）活動を行う（＝福祉力を高める）住民の自主的な組織。また、自治会単位（小地域）の福祉会を「小地域福祉会」、地区単位の福祉会を「地区福祉会」と称している。

■福祉会組織化の経緯

福祉会は、宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書（昭和 61 年 1 策定）にて、“活動のための組織体制強化策”として採用した事業。昭和 62 年に「小地域福祉会組織化事業」が開始され、翌昭和 63 年 4 月に自由ヶ丘地区に本市で初めての福祉会「自由ヶ丘地区社会福祉会（現：自由ヶ丘地区福祉会）」が発足した。その後、各地に福祉会を組織化。平成 10 年 7 月 10 日に赤間西地区福祉会が発足し、旧宗像市においては市内 8 地区全域に福祉会が組織化された。

平成 15 年 4 月 1 日に玄海町と宗像市が合併、これに伴い両社会福祉協議会も平成 15 年 3 月 31 日に合併、新たな福祉会の組織化が平成 15 年度再開した。平成 15 年 9 月 21 日に神湊地区福祉会が発会、平成 16 年 1 月 25 日の田島地区福祉会の発会をもって、旧玄海町 4 地区（市内 12 地区）全域に地区福祉会が組織化された。平成 17 年 3 月 31 日には、本会が大島村社会福祉協議会と合併したのを機に、大島村福祉会（現：大島地区福祉会）が宗像市 13 番目の地区福祉会となった。

■各福祉会の取り組み

※【 】は地区福祉会

地 区	福祉会名	主な活動内容
吉武地区	【吉武地区福祉会】	楽しく食べて語るバスハイク、介護予防いきいき交流会事業/すみれサロン（9 回）、孝行ネットの推進、先進地視察研修、学童ふれあい活動、ボランティア育成、世代間交流事業
赤間地区	【赤間地区福祉会】	小地域福祉会情報交換会、救急キット配布および見守りネットワーク活動について地区内代表者会議（ちょボラ・ワンコインサービス協議含む）、先進地視察研修、高齢者閉じこもり予防食事会

	赤間区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(12回)、福祉会花壇作業、1日バスハイク、福祉研修会(不正商法について：消費生活センター)、ラジオ体操
	石丸区福祉会	1人暮らし高齢者と老夫婦世帯見守り訪問活動(月1回)、世代間交流事業(芋掘り、どんど焼き)、区内介護福祉施設との連携(講師要請等)、ニュースポーツと茶話会、広報誌発行2回、介護予防いきいき交流会事業(1回)
	徳重区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(ダーツ&冷やしソーメン、バスハイク、体操&豚汁など6回)、子ども夏休み学習会、道路クリーン活動、世代間交流事業(どんど焼き)、集会所花壇植付け
	田久区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(10回)、障害者激励プレゼント訪問、バスハイク
	陵巖寺区福祉会	ふれあい会食会(双葉会/9回)、広報紙発行年6回、1日バスハイク、高齢者料理教室、友愛見守り活動、世代間交流事業(ニュースポーツ大会、昔遊び伝承、餅つき大会)
	三郎丸団地区福祉会	声かけ安全確認、いきいき新緑鑑賞会、敬老の日記念品贈呈、介護予防いきいき交流会事業(2回)
	広陵台1丁目福祉会	介護予防いきいき交流会(8回)、子ども登下校見守り事業、ラジオ体操、子ども見守り事業2(防犯マップ作成)、朝カフェ(ラジオ体操参加者)
	葉山区福祉会	ふれあい昼食会(お花見、あじさい祭りなど4回)、介護予防いきいき交流会事業(6回)、世代間交流事業(イモ苗植え、芋掘りぜんざい、七夕など5回)、福祉会設立20周年記念行事、福祉ボランティア活動(ほっとライン活動、見守り、他)
	名残区福祉会	敬老祝賀会
	富地原区福祉会	ふれあい清掃活動(17回)、広報活動(6・10月)、介護予防いきいき交流会事業(5回)、世代間交流事業(どんど焼き)
赤間西地区	【赤間西地区福祉会】	見守りネットワーク活動の推進、地域ボランティア登録事業の推進、介護予防いきいき交流会事業、赤間西小6年福祉教育への協力、福祉講演会、福祉だよりの発行、ステップアップ研修、世代間交流、先進地視察研修
	土穴区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、福祉員による見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(11回)、乙女の会(女性独居高齢者の会)・金太郎会(男性独居高齢者の会)の開催
	城ヶ谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(あすなろ会/10回)、ふれあいラジオ体操、独居高齢者との懇談会、見守り声かけ助け合い、刃物研ぎ、保育園児と高齢者とのふれあい活動、福祉だより発行
	赤間ヶ丘1区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(6回)、福祉会便り発行
	赤間ヶ丘2区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(8回)、バスハイク、敬老祝賀会、広報「ふれ愛」の発行、見守り助け合い「向こう三軒両隣り安心運動」パトフラッシュによる緊急時の自発的警報発信の取組
	三郎丸区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(6回)、世代間交流事業(干灯明祭支援)、刃物研ぎ、高齢者への見守り声かけ活動、広報活動、登校時の声かけ

	城山区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(11回)、ラジオ体操、子ども見守り活動、刃物研ぎ
	大谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、敬老祝賀会、介護予防いきいき交流会事業(6回)、高齢者の見守り(災害時要援護者支援)
	泉ヶ丘1丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(7回)、敬老祝賀会、わんわんパトロールの実施、刃物研ぎ、ボランティアだよりの発行
	泉ヶ丘2丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(5回)、どんど焼き、七夕会、敬老祝賀会、世代間交流事業
	アーサー赤間駅前福祉会	介護予防いきいき交流会事業(3回)
自由ヶ丘地区	【自由ヶ丘地区福祉会】	福祉委員による見守りネットワーク活動(65歳以上独居者・80歳以上の高齢者・その他対象者)、介護予防いきいき交流会事業(10ヶ所/68回)、いきいきふれあいサロン代表者会議の開催、小地域福祉会の組織化の推進、福祉だより「ほほえみあい」、ミニ広報「お元気ですか」の発行、福祉情報連絡会の開催(区会単位で年6~12回開催)、民生委員との懇談会、福祉委員連絡会、福祉委員研修会、小地域福祉会組織化の推進
河東地区	【河東地区福祉会】	情報交流会、ボランティア研修、視察研修、役員会
	須恵区福祉会	高齢者バスハイク、見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(4回)、敬老祝賀会
	稲元区福祉会	世代間交流会、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業(6回)
	福崎区福祉会	三世代交流会、介護予防いきいき交流会事業(4回)、ボランティア研修会
	ひかりヶ丘福祉会	福祉講演会、世代間交流事業、フリーサロン、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業(8回)、見守り訪問活動、声かけ安全パトロール、刃物研ぎ、福祉だよりの発行
	城西ヶ丘区福祉会	おしゃべりサロン、ふれあいバスハイク、夏祭り、視察研修、介護予防いきいき交流会事業(4回)
南郷地区	【南郷地区福祉会】	福祉協力員研修(2回)、バスハイク(2回)、楽しく食べて語ろう会【楽食会、世代間交流】(2回)、先進地視察研修、シルバー農園、介護予防いきいき交流会事業(12か所/55回)、ふれあい見守り活動、どんど焼き、わくわく交流会、敬老の日の宛名書き、愛の年賀状宛名書き
東郷地区	【東郷地区福祉会】	医療講演会、福祉委員研修及び会議(10回)、赤い羽根ふくし事業、シルバー農園、ひとり暮らし高齢者バスハイク、理事及び福祉委員合同視察研修、福祉だよりの発行、介護予防いきいき交流会事業(9か所/57回)
日の里地区	【日の里地区福祉会】	ネットワーク推進会議、主任福祉委員会議、町内会長(福祉会長)と主任福祉員との意見交換会、民生委員と主任福祉員との意見交換会、福祉員のための福祉講座、ふれあい昼食会、おもちゃ病院、視察研修、シルバー農園、福祉員の集い、介護予防いきいき交流会事業、「日の里の福祉計画」の周知・推進、各町内会福祉会による活動

神湊地区	【神湊地区福祉会】	ひとり暮らし高齢者バスハイク、ふれあいお楽しみ会(旧クリスマス会)、花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(22回)、理事・福祉協力員研修会(2回)
池野地区	【池野地区福祉会】	介護予防いきいき交流会事業(5か所/21回)、【田野区サロン(2回)、玄海ニュータウンサロン(1回)、桜町サロン(1回)、公園通りサロン(2回)やまびこサロン(11回)池野地区サロン(4回)七夕会、クリスマス会、ひなまつり、新春会】ひとり暮らし高齢者バスハイク、アオキ会ボランティア研修
岬地区	【岬地区福祉会】	ふれあいバスハイク、ひとり暮らし高齢者訪問(日常生活支援プレゼント配布)、介護予防いきいき交流会事業(2か所/2回)、ふれあいクリスマス会、認知症サポーター養成講座
田島地区	【田島地区福祉会】	ひとり暮らし高齢者バスハイク、ふれあいお楽しみ会(旧クリスマス会)、花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会(11回)、理事研修会(2回)
大島地区	【大島地区福祉会】	葬祭用具貸出し事業、各区対抗スポーツ大会、敬老会、新成人式を祝う会、山笠・盆踊りまつり支援

②福祉会新役員研修会

■事業説明：福祉会の新任役員を対象に福祉会活動についての研修を行った。

実施時期	場 所	主な内容
6月5日	メイトム宗像 202会議室	内 容：①福祉会活動について(福祉の里～ともにいきるまち宗像をめざして～) ②いきいきふれあいサロンの事務手続きについて・他 参加者：福祉会の新任役員 26人

③地域ネットワーク活動の充実(各福祉会の取り組み参照)

■事業説明：小地域ネットワーク活動とは、民生委員児童委員と福祉会の地域ケア型ボランティア、老人クラブや地域の事業所が連携・協力して、単身高齢者世帯等への定期的な見守り・訪問活動・できる範囲での生活援助活動などを行う活動。

(2) 介護予防いきいき交流会事業の実施と事業の充実(市委託事業)

①介護予防いきいき交流会事業

■事業説明：高齢者の閉じこもり予防や日常の健康を維持することを目的とした「サロン活動」を活用し、さらに介護予防の内容を充実させた事業を行っている。なお、介護予防いきいき交流会事業には、「地島ミニデイサービス」と「大島DEいきいき元気教室」も含まれる。

■事業内容：●各区、町内会で行われている高齢者等を対象にしたサロン活動において、血圧、体脂肪等の測定及び簡単な健康相談などの健康チェックを実施。

●介護予防メニューとして、口腔ケア、栄養指導、運動指導を実施。

■運営体制：市から本会への委託事業。各福祉会が実施し、本会は支援、協力、調整などを行っている。

地区ごとの実施状況	開催箇所(単位:ヶ所)	開催回数(単位:回)	栄養指導(単位:回)	口腔ケア(単位:回)	運動指導(単位:回)
吉 武 地 区	8	8	4	1	2
赤 間 地 区	9	62	3	3	4
赤 間 西 地 区	10	73	6	3	5
自由ヶ丘地区	11	68	2	2	6

日の里地区	12	57	0	0	2
南郷地区	12	55	7	1	5
河東地区	7	26	5	0	5
東郷地区	10	57	5	4	4
池野地区	5	21	4	0	4
田島地区	1	11	1	0	1
神湊地区	3	21	2	2	3
岬地区	2	2	0	0	0
大島地区	4	8	0	0	0
合計	94	469	39	16	41

- 事業実績：●延べ参加者数：9,105人（65歳以上）・1,649人（64歳以下）
- 延べ従事者数：4,869人
- 合計：15,629人

②介護予防いきいき交流会事業推進協力者研修の実施

- 事業説明：いきいきふれあいサロン活動の内容の充実と活動に関わる人材育成を目的に研修会を開催。
- 実施期日：平成27年7月16日（木）13:00～16:00
- 実施場所：メイトム宗像 多目的ホール
- 活動内容：講演、レクリエーション実践の2部構成で研修会を実施。
 - ◇講演会Ⅰ 「サロンで認知症予防」
講師 医療法人 光風会 宗像病院 福岡県認知症医療センター
精神保健福祉士 矢山 隆行 氏
 - ◇講演会Ⅱ 「認知症予防に運動？」
講師 福岡市健康づくりサポートセンター 工学博士（運動生理学） 佐藤 広徳 氏

参加者数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		237人	130人

③地島ミニデイサービス事業の改善と適切な運営

- 事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回健康チェックを実施している。
- 実施場所：地島白浜公民館および地島ふれあい館（泊）

実施時期	参加者数	主な活動内容
5月14日	15人	内容：体力測定、貯筋体操（よつづか）
6月11日	14人	内容：貯筋体操、懐メロを一緒に歌おう（お出かけ音楽隊）
7月21日	12人	内容：認知症に効果のある運動と講話（よつづか）
9月17日	12人	内容：高齢者の皮膚の保護について（よつづか）
10月22日	9人	内容：貯筋体操、健康長寿の秘訣[運動指導・講話]（和白病院）
11月19日	14人	内容：風邪をひかないための体力づくり（よつづか）
2月18日	7人	内容：栄養指導「おいしく食べて力持ち」、健口体操（よつづか）

④大島 DE いきいき元気教室の適切な運営

- 事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。
- 実施場所：大島ふれあいセンター、大島地区コミュニティセンター

実施時期	参加者数	主な活動内容
4月16日	22人	体力測定、ボール投げゲーム、悠々体操
5月28日	23人	体力測定、貯筋体操（よつづか）
6月18日	27人	リハビリ体操、卓球バレー、悠々体操

6月25日	22人	認知症に効果のある運動と講話（よつづか）
8月28日	18人	高齢者の皮膚の保護について（よつづか）
9月17日	20人	リハビリ体操、体力測定、神経衰弱、悠々体操
10月29日	31人	講話「インフルエンザ・風邪予防について」（よつづか）
11月19日	22人	リハビリ体操、パターゴルフ、成績発表、悠々体操
12月18日	18人	講話及び運動「健口体操」（よつづか）
1月21日	24人	体力測定、羽根っこゲーム、悠々体操
2月25日	24人	体力測定、栄養指導「食事から豊かなシニアライフへ」（よつづか）
3月17日	18人	リハビリ体操、6グループ対抗ゲーム、表彰状・プレゼント渡し

（3）地区福祉会連絡協議会の活動状況

■事業説明：福祉会相互の情報交換、交流、研修等を通じ、それぞれの地域における福祉会活動を促進するとともに、市民参画型の地域福祉活動の充実を図ることを目的に平成9年設置。各地区福祉会の会長、事務局長等、代表2名で構成している。

実施事業	実施時期	主な活動内容
理事会（総会）	5月29日	①平成26年度事業報告・決算報告及び監査報告について ②役員改選について ③平成27年度事業計画・予算について
先進地視察研修	6月24～25日	研修先：山口県防府市社会福祉協議会 研修内容：①周南市の概要について ②もやいネット周南の概要について ③善意銀行について・他
第1回 情報交換会	6月25日	先進地視察研修2日目に実施 テーマ：①今回の研修の感想や意見 ②第4次計画について ③次年度以降の「先進地視察研修」の実施時期について ④認知症サポーターステップアップ講座の開催について・他
理事研修会	1月20日	講師：寺島 正博氏（福岡県立大学人間社会学部講師） 主 題：障害者差別解消法・合理的配慮とは？ 内 容：①障害者差別解消法・合理的配慮とは ②合理的配慮の基本的な考え方や事例について ③地域住民に求められていることへの具体的な対処方法について
第2回 情報交換会	1月20日	理事研修後に実施 テーマ：①宗像市消費者センターからのお知らせ ②福祉ボランティア養成講座について ③認知症サポーター養成講座実施への協力について ④次年度以降の「先進地視察研修」の実施時期について ⑤今回の理事研修会の感想や意見について・他

（4）宗像市民生委員児童委員協議会と連携・支援

■事業説明：宗像市民生委員児童委員協議会と連携・協働して小地域ネットワーク活動の推進、生活福祉資金の運営、歳末たすけあい募金、その他多くの地域福祉活動を推進している。

■宗像市民生委員児童委員協議会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	299,000円	299,000円	299,000円

(5) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援

■事業説明：宗像市シニアクラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動やいきいき介護予防交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進している。

■宗像市老人クラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
	512,000 円	—	512,000 円	—	512,000 円	—

(6) 福祉バス貸出事業の適切な実施

■事業説明：研修や社会参加活動のため、福祉バスの貸出を行った。

貸出件数	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
	110 件	—	104 件	—	116 件	—

(7) ライフサポート事業の実施

① ライフサポート事業(地域福祉権利擁護事業)

■事業説明：本会の独自事業として、高齢者や精神障がいがある人、知的障がいがある人などで、判断能力が不十分な人の権利を擁護し、自分の意思に基づいて安心した生活を送ることができるよう支援する事業を平成 25 年 8 月 1 日から実施している。

本事業利用の可否等を審査する「運営審議会」の開催、また生活保護者を主とした県社会福祉協議会実施主体の「日常生活自立支援事業」もあわせて実施している。

■支援内容：①生活支援サービス…定期訪問による見守り、郵便物の管理 等

②生活費管理サービス…福祉サービス利用援助、日常必要な預貯金の出し入れ 等

③通帳等預かりサービス…預貯金通帳の保管や管理 等

■職員体制：生活支援員 5 人（うち 4 人は兼務）、市民生活支援員 6 人登録

■ライフサポート事業利用実績

項目	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
高齢者	8 人	—	12 人	4 人	12 人	0 人
知的障害者	9 人	—	11 人	2 人	12 人	+1 人
精神障害者	4 人	—	8 人	4 人	4 人	-4 人
その他	1 人	—	2 人	1 人	2 人	0 人
合計	22 人	—	33 人	11 人	30 人	-3 人

■ライフサポート事業利用内容

項目	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	実績	実績	実績	前年比較	実績	前年比較
生活支援サービス	22 人	—	33 人	11 人	30 人	-3 人
生活費管理サービス	18 人	—	23 人	5 人	24 人	+1 人
通帳等預かりサービス	16 人	—	21 人	5 人	20 人	-1 人

※日常生活自立支援事業利用実績（県社会福祉協議会委託事業）

項目	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
高齢者	7 人	-2 人	5 人	-2 人	5 人	0 人
知的障害者	6 人	-6 人	2 人	-4 人	2 人	0 人
精神障害者	2 人	—	3 人	1 人	2 人	-1 人
その他	0 人	—	0 人	0 人	0 人	0 人
合計	15 人	-8 人	10 人	-5 人	9 人	-1 人

②運営審議会の開催

■審議委員：弁護士、宗像・遠賀保健福祉環境事務所（健康増進課精神保健係長）、宗像市役所（保健福祉政策課保健福祉政策係長、福祉課障害者福祉係長、高齢者支援課地域包括支援係長）、社会福祉協議会（福祉企画課長） 計6人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
第12回審議会	4月24日	内 容：①委嘱状の交付 ②契約状況について ③審議 審議人数：1人（新規：1501）
第13回審議会	8月27日	内 容：①契約状況について ②審議 審議人数：1人（新規：1502）
第14回審議会	12月15日	内 容：①契約状況について ②審議 審議人数：5人（新規：1503～1507）
第15回審議会	2月24日	内 容：①契約状況について ②審議 審議人数：2人（新規：1508～1509）

③その他の活動

項目	実施時期	主な内容
ケース会議	月1回	内 容：個別ケースの支援内容の検証と情報の共有化のための会議を毎月行いました。
福岡県社協生活支援員研修	2月26日	内 容：日常生活自立支援事業における精神障害を持つ人への生活支援について 場 所：クローバープラザ 参加者：社協職員1人・市民支援員5人
福岡県社協専門員研修	3月10日	内 容：専門員に求められる基本的な相談援助技術について 場 所：クローバープラザ 参加者：社協職員1人

（8）心配ごと相談所設置事業

■事業説明：心配ごと相談所への相談は、近年多様化している。そのため、他相談機関とも連携を図っている。主に法律、財産、離婚、家族関係等の相談が全体の約7割を占めている。相談員は3人で、相談は個別（個室）面接方式で行っている。

■相談日：①毎月第1・2・4木曜日・場所：市役所1階
②偶数月第3木曜・場所：日の里コミセン
③奇数月第3木曜・場所：自由ヶ丘コミセン

■相談員：3人 ■相談件数合計：516件 ■利用者数：162人

■相談件数及び相談内容

内 容		人 権 法 律	財 産	家 族 関 係	離 婚 結 婚	生 計 年 金	住 宅	事 故	健 康 医 療	職 業 生 業	苦 情	福 祉 関 係	そ の 他	合 計
件 数	平成25年度	125	110	95	66	57	56	2	15	9	7	16	27	585
	平成26年度	113	106	84	43	36	35	8	5	2	8	11	29	480
	平成27年度	114	91	101	46	52	41	4	20	5	8	9	25	516

（9）災害援助ボランティア活動連絡協議会の運営

①防災イベント「宗像から未来へつなぐ～地域防災リーダーをめざしてへの協力

■事業説明：宗像青年会議所と宗像市・福津市・古賀市社会福祉協議会との災害時相互協力協定に基づき、宗像青年会議所主導による防災イベント「宗像から未来へつなぐ～地域防災リーダーをめざして」の実施に協力した。

■場 所：宗像ユリックス

■期 日：平成 27 年 4 月 11 日

②災害時相互支援連絡会議への参加

■事業説明：①の同協定に基づき、宗像青年会議所と宗像市・福津市・古賀市社会福祉協議会による定期的な連絡会議を開催している。

■場 所：メイトム宗像

■期 日：平成 27 年 6 月 5 日

■内 容：①対象とする災害の確認 ②支援内容の確認 ③連絡体制（担当部署・連絡先）の確認 ④連絡会議の開催の確認

③災害ボランティアセンター連絡協働研修会への参加

■事業説明：①の同協定に基づき、日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会などが主催する標記研修会に参加し、災害発生時における災害ボランティアセンターの設置や運営に関する学習を行った。

■場 所：九州ビル（福岡市博多区）

■期 日：平成 27 年 11 月 1 日

■内 容：①基調講演①「災害ボランティアセンターが担っていく事とは」 ②基調講演②「社会福祉協議会と青年会議所の協定締結に向けた取り組みの紹介」・他

④その他（平成 27 年度災害ボランティアコーディネーター養成研修会への参加）

■事業説明：福岡県などが主催する標記研修会に参加し、災害発生時における災害ボランティアセンターの設置や運営に関する学習を行った。

■場 所：粕屋町福祉センター

■期 日：平成 27 年 10 月 31 日

■内 容：①被災者のおかれている環境と災害時のボランティア活動 ②災害ボランティアセンターの実際について・他

(10) 宗像市遺族会連合会活動への助成

■事業説明：宗像市遺族会連合会へ活動費補助金の交付を行っている。

■宗像市遺族会連合会へ活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	894,000 円	1,099,000 円	1,099,000 円

4 広報広聴活動の推進

(1) 社協だよりの発行

■事業説明：市広報紙タウンプレスむなかたを利用して年 6 回（偶数月の 1 日号）発行。市民に地域福祉や本会活動についての理解と啓発を図っている。

実施時期	記事の内容
■第 157 号 4 月 1 日発行 (2 項)	福祉教育読本「ともに生きる」感想文と福祉絵画コンクール、シリーズ④あなたのもとに「声の広報」届けます、在宅介護者 1 泊りフレッシュセミナー参加者募集、相談場所変更、ボランティアセンター通信（手話講習会受講者募集・ボランティア活動保険・V-net 登録更新お知らせ・出張おもちゃ図書館・開所日変更）、チャリティボウリング大会お礼、寄贈謝礼（生命保険協会福岡協会）、他
■第 158 号 6 月 1 日発行 (2 項)	平成 27 年度社会福祉協議会事業計画・予算、地域防災イベント、ボランティアセンター通信（手話講習会受講者募集・点字版時刻表案内）、障害者生活支援センター（虐待防止セミナー開催・ピアサポート事業参加者募集と報告・ピアサポーター増員）、他

<p>■第 159 号 8 月 1 日発行 (2 項)</p>	<p>ボランティア団体「にじいろぼけっと」誕生、シリーズ㉔「大島ふれあいセンター」健康・福祉ミニまつり 10 周年記念、認知症サポーターステップアップ講座参加者募集、平成 26 年度社会福祉協議会決算報告、ボランティアセンター通信（ジュニアボランティアスクール参加者募集・おもちゃ図書館休館日）、障害者生活支援センター（ピアサポート事業報告）、在宅介護者 1 日リフレッシュセミナー参加者募集、他</p>
<p>■第 160 号 10 月 1 日発行 (3 項)</p>	<p>シリーズ㉕おもちゃ図書館 30 周年・記念イベント、障害者生活支援センター（ピアサポート事業参加者募集）、共同募金協力のお願い（前年度実績額、使いみち、計画募金、目標額、目安額、支えられている募金、実績額の推移）共同募金配分団体紹介「宗像市在宅介護家族の会ひまわり」、参加者募集（在宅介護者 1 日リフレッシュセミナー・地域福祉文庫講演会・あゆみの会リフレッシュバスハイク・ひとり親家庭バスハイク）ボランティアセンター通信（ジュニアボランティアスクール報告・ボランティア入門講座参加者募集）、他</p>
<p>■第 161 号 12 月 1 日発行 (2 項)</p>	<p>福祉教育読本「ともに生きる」感想文と福祉絵画コンクール、ボランティアセンター通信（おもちゃ図書館 30 周年記念イベント・おもちゃ図書館休館日・ボランティア入門講座より）、歳末募金協力依頼、参加者募集（認知症サポーター養成講座・在宅介護者応援セミナー）、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式、福祉サービス苦情解決制度、障害者生活支援センター（ピアサポート事業報告）、他</p>
<p>■第 162 号 2 月 1 日発行 (3 項)</p>	<p>歳末募金謝礼及び寄付者名簿、寄付謝礼（藤島部屋・くりえいと宗像さくら会・岡垣第一幼稚園・宗像手をつなぐ会）ボランティアセンター通信（福祉ボランティア養成講座参加者募集）障害者生活支援センター（ピアサポート事業参加者募集・障害者虐待防止研修会）、参加者募集（認知症サポーターステップアップ講座・チャリティボウリング大会）、赤い羽根共同募金謝礼（河東地区福祉会・宗像楽謡会・大島中街頭募金隊）、他</p>

（2）本会ホームページの管理・運営

①ホームページの管理・運営

- 事業説明：インターネットを利用して市内外の人々に 24 時間体制で情報を提供するとともに、「社協だより」や「ボランティアセンターだより」、また本会の各種計画や地区福祉会の地域福祉活動計画等のデータベース化を図っている。
- 実施内容：本会ホームページの管理・運営を行った。「バナー」広告に関しては、空きがないように努め、全区画ご利用いただいている。なお、平成 25 年度よりアクセスログイン数については、より正確な数値を得るため、集計方法を改めた（高機能なアクセスログ解析ツールである「グーグルアナリティクス」に変更した）。

アクセス ログイン数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	28,064 件	33,464 件	33,516 件
—	119.2%	100.2%	

②本会フェイスブックページの開設と実験的運営【新】

- 事業説明：第 4 次計画に基づき、平成 28 年度から本会的にフェイスブックを運用するため、実験的にフェイスブックの開設と運営を行った。

5 高齢者福祉事業の推進

(1) 宗像市在宅介護者支援事業(市委託事業)

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者に、より良い介護が継続できるように、介護研修やリフレッシュ事業を行った。

実施事業	実施時期	主な活動内容
在宅介護者応援セミナー	2月9日	講師：NPO法人博多笑い塾 理事長 小ノ上マン太郎氏 内容：介護が楽しくなる笑いの活用法 場所：メイトム宗像 202 会議室 参加者数：33人
一泊リフレッシュセミナー	5月26～27日	訪問先：阿蘇・九重方面 他 宿泊先：アーバンホテル阿蘇 (熊本県阿蘇郡南阿蘇村下野 147-10) 内容：滞在型リフレッシュ事業 参加者数：17人
一日リフレッシュセミナー	10月27日	訪問先：お料理 浄安 (久留米市田主丸町益生田 694-1) 内容：交流会型リフレッシュ事業 参加者数：29人

(2) 在宅介護家族の会ひまわり活動助成支援

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者の当事者組織である「ひまわり」に、人的・資金的支援を行った。

■宗像市在宅介護家族の会“ひまわり”への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	126,000 円	130,000 円	130,000 円

(3) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援

■事業説明：宗像市シニアクラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動やいきいき介護予防交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進した。

■宗像市シニアクラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	512,000 円	512,000 円	512,000 円

(4) 鍼灸治療費補助事業

■事業説明：高齢者の健康維持のため、社会保険加入者に限り鍼灸治療費の一部を補助。平成 20 年度より後期高齢者医療被保険者についても市の委託事業として本会で一部補助を開始した。

■鍼・灸治療費の助成内容：一回につき 500 円、月 5 回まで

鍼灸延べ 利用件数	保険種別	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	社会保険被保険者	944 件	870 件	1,033 件
	後期高齢者医療被保険者	3,119 件	3,102 件	2,598 件

(5) 認知症サポーター養成講座事業

①認知症サポーター養成講座

■事業説明：平成 25 年度から宗像市より受託したこの講座は、誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族の「尊厳ある暮らし」を守り、認知症になっても安心して暮らせるまちの創造を目指した。また平成 26 年度からは、宗像市が開始した

「福岡都市圏徘徊高齢者捜してメール」の「協力サポーター」の登録推進についても認知症サポーター養成講座開催時に毎回参加者に登録協力を呼びかけた。

■実施方法：本会職員が講師役「キャラバン・メイト」養成講座を受講し、学んだ知識や体験などを踏まえ、地域、学校、職場などで養成講座を開催した。

■事業実績：

項目／年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実施回数	13 回	34 回	33 回
受講者数	239 人	1,317 人	1,341 人

②認知症サポーターステップアップ講座

■事業説明：平成 26 年度から宗像市より受託したこの講座は、「認知症サポーター養成講座」を修了した人が復習も兼ねて学習する機会を設け、より上級な講座など、地域や職域の実情に応じた取り組みを推進するための講座。

■事業実績：

項目／年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実施回数	—	1 回	5 回
受講者数	—	24 人	302 人

(6) 給食サービス事業

■事業説明：主に玄海地区で高齢者への「ふれあい型給食サービス事業」を実施しているボランティア団体へ助成を行った。

助成額	団体名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	浜ゆうの会	144,000 円	144,780 円	137,800 円
じょうもんさん会	56,000 円	55,220 円	62,200 円	

6 障がい児者福祉事業の推進

(1) 車イス貸与事業

■事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行った。

延べ利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	205 件	215 件	196 件

(2) 障がい児者福祉団体活動への支援

①宗像市あゆみの会活動への助成・支援

■内 容：宗像市あゆみの会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	360,000 円	300,000 円	200,000 円

②宗像市身体障害者福祉協会活動への助成・支援

■内 容：宗像市身体障害者福祉協会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	693,000 円	693,000 円	693,000 円

③あじさいの会活動への助成・支援

■内 容：障がい者とボランティアが協働で社会参加活動を行う「あじさいの会」へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	58,000 円	65,000 円	65,000 円

④宗像コスモス会への助成

■内 容：精神に障がいがある人とその家族で構成する福祉団体コスモスの会へ活動費補助金を交付。

補助金交付額	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		400,000 円		400,000 円		400,000 円

⑤（障がい者）パソコンクラブへの支援

■内 容：障がい者で構成される社会参加型のパソコンクラブ。本会の福祉教育読本ともに生きる感想文集のデジタル化（パソコン入力）を毎年依頼している。

委託金交付額	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		25,400 円		25,400 円		26,200 円

（3）障がい者等への情報配信事業

①手話講習会事業

■事業説明：コミュニケーション方法のひとつ「手話」を学び、「聴覚障がい」と聴覚障がいや難聴の人の理解促進を図る事業。

■会 場：●火曜・土曜コース…メイトム宗像 ●金曜コース…玄海地区コミセン

■講習会日時：●火曜コース…19時から21時、金曜コース…13時30分から15時30分
●土曜コース…13時から15時

■運営委託：①手話サークル「シュワッチ」 ②玄海手話サークル「ゆび」

活動実績	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
火曜	38 回	569 人	38 回	482 人	38 回	470 人
金曜	40 回	467 人	40 回	424 人	40 回	316 人
土曜	34 回	1,266 人	36 回	1,488 人	38 回	1,522 人
合計	112 回	2,302 人	114 回	2,394 人	116 回	2,308 人

②声の広報配布事業

■事業説明：視覚に障害がある市民へ、市や地域の情報を届けるため、毎月2回宗像市広報「むなかたタウンプレス」（1日・15日号）等を音訳、デジタル録音したCD-Rやカセットテープ等に録音し、配布する事業。

■委託団体：日の里テープの会・日の里いずみの会・森林都市うぐいす

利用者数 (視覚障がい者)	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		22 人		22 人		18 人

③要約筆記ボランティア事業

■事業説明：要約筆記活動を軸に、聴覚・言語・音声機能などの障がいのために意思疎通を図ることに支障がある人に対するボランティア活動。過去、本会が実施した福祉ボランティア養成講座「要約筆記ボランティアコース」受講者を中心に、平成25年度ボランティア団体「暖歩（ダンボ）」を発会し、今年度も定期的な活動を実施した。

■活動内容

実施日	場 所	主な活動内容
毎月1回開催	メイトム宗像	定例会及び学習会、養成講座講師協力 ●パソコン要約筆記学習 ●手書きによる要約筆記学習 ●ノートテイク活動

（4）おもちゃ図書館の運営

■事業説明：障がいのある人や子ども、高齢の人が「布のおもちゃ」等の療育遊具等で遊びながら療育を行うことができる施設。おもちゃの貸し出しも実施した。館の運営、布おもちゃの作成はボランティアに委託した。さらに、市内小学校特別支援学校などに「出張おもちゃ図書館」や通信紙「たんぼぼ通信」も実施、発行した。今年度、開館30周年を迎え、12月に記念イベ

ントを開催した。

■開館場所：メイトム宗像別館「居宅介護支援センター」1F

■開館日時：毎週木曜日 14：00～17：00・第2・4土曜日 14：00～16：00

■運営委託：宗像おもちゃライブラリー

活動実績	項目／年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	制作点数	11 点	16 点	12 点
	貸出し件数	493 件	618 件	822 件
	延べ利用入館者数	437 人	446 人	883 人
	出張・臨時おもちゃ図書館	5 回	6 回	5 回

■出張・臨時おもちゃ図書館：おもちゃ図書館に来所することが困難な団体などに対し出張訪問などで対応する。

日程	訪問先	参加者数
7 月 31 日	宗像地区手をつなぐ会レクリエーション	40 人
8 月 8 日	世界一行きたい科学広場 in 宗像（宗像ユリックス）	452 人
11 月 17 日	河東小学校ひまわり学級交流会	26 人
12 月 23 日	30 周年記念イベント	140 人
平成 28 年 1 月 26 日	日の里西小、日の里東小合同交流会（日の里西小学校）	43 人
合計		5 回 701 人

（5）車イス移送車貸出事業

■事業説明：高齢または障がいのある車イス利用者が、地域の行事などの社会参加や通院など、自由に外出できるよう車イス移送車を貸し出す事業。

活動実績	項目／年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	利用登録数	個人	16 人	20 人	14 人
		団体	1 団体	1 団体	1 団体
		スロープカー	29 回	25 回	23 回

※平成 25 年度よりスロープカーのみの貸し出し。

7 低所得者福祉事業の推進

（1）生活福祉資金貸付事業（福岡県社会福祉協議会委託事業）の推進

①生活福祉資金貸付・償還事務の適切な実施

■事業説明：生活福祉資金は、低所得者の経済的自立や生活意欲の助長を促進し、安定した生活を営めるようにするための資金貸付制度。平成 21 年度には、世界的長期経済金融情勢の悪化に伴い、日本においても多くの非正規労働者などが雇用や住居を失う事態となったため、この制度が大きく改正され、失業者への再就職支援、生活や住居維持の総合的な支援ができる「総合支援資金」が新設された。資金の種類としては、高校・大学などへの進学や高校卒業を支援する「教育支援資金」や生活保護受給までのつなぎとしての「緊急小口資金」などがある。

貸付実績	項目／年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	教育支援資金	17 件	19 件	28 件
	福祉費	3 件	9 件	5 件
	緊急小口資金	29 件	24 件	29 件
	臨時特例つなぎ資金	1 件	0 件	0 件
	総合支援資金	2 件	2 件	2 件
合計	52 件	54 件	64 件	

②「社協・生活支援活動強化方針」ならびに「生活困窮者支援制度」による新たな支援事業実施のための調査研究ならびに実験事業の実施

- 事業説明：平成27年度から施行された「生活困窮者自立支援法」にあわせて、社会福祉協議会が行っている「生活福祉資金貸付事業」との連携について、国から指針が示されたため、宗像市福祉課と協議・検討し、支援調整会議への参加も含め貸付業務について、連携し事務を行った。

(2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

①歳末たすけあい募金配分委員会

- 事業説明：集まった募金について、募金配分先や金額等を協議する会議。

実施日	場 所	主な内容
12月22日	メイトム宗像 202会議室	配分委員会において平成27年度募金実績額の報告及び平成27年度募金配分計画等について協議・決定を行った。

②歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

- 事業説明：歳末たすけあい募金の実施に関して宗像市民生委員児童委員協議会と協働して取り組んだ。
- 実施内容：民生委員・児童委員が商店や企業などを訪問して歳末募金を行い、福祉団体等や生活困窮者、各福祉会へ募金の配分を行った。
- 実施期間：11月1日～12月31日

活動実績	項目／年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	募 金	実 績 額	2,311,195 円	2,489,783 円	2,360,949 円
配 分 金 額	生活困窮者世帯 【世帯数】	45,000 円 【9世帯】	60,000 円 【12世帯】	35,000 円 【7世帯】	
	※福祉団体等	654,000 円	584,000 円	619,000 円	
	地区福祉会	1,609,000 円	1,845,000 円	1,706,000 円	
	共同募金へ繰入	3,195 円	783 円	949 円	

※福祉団体等：子育てサロン・子育てサークル、福祉団体、ボランティアグループ

8 子育て子育て・母子寡婦福祉支援事業の推進

(1) 子育て・子育て支援事業の充実

①こねっと活動助成支援

- 助成内容：子育て支援事業の重要性に鑑み、平成26年度よりNPO法人 むなかた子育てネットワークこねっとへの活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	35,000 円	40,000 円	40,000 円

②子育てサロンや子育て支援団体活動への助成支援

- 事業説明：歳末たすけあい募金の中から、配分を希望する子育てサロンや子育て支援団体へ活動資金の助成を行った。
※（ ）内の数字は助成団体数

補助金額	交付団体	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	子育てサロン	284,000 円 (10)	254,000 円 (9)	254,000 円 (9)
	子育て支援団体	140,000 円 (5)	150,000 円 (5)	150,000 円 (5)

③宗像市子育て関係機関連携会議への参加

- 事業説明：宗像市が主催する子育て支援団体、児童関係機関の会議には、宗像市「子ども家庭課（子ども保健係、子ども家庭係）」「子ども育成課」「図書課」「コミュニティ・協働推進課」「男女共同参画推進課」「発達支援センター」「NPO法人むなかた子育てネットワークこねっと」「主任児童委員代表」「秘書政策課」と本会が主に参加した。

■活動内容

事業名	実施時期	主な活動内容
第1回会議	5月20日	場 所：宗像市役所 内 容：①新担当者紹介 ②各団体の年間スケジュールについて
第2回会議	9月17日	場 所：宗像市役所 内 容：①各団体からの中間報告 ②平成28年度連携事業の提案など

(2) 地域福祉文庫連絡協議会活動助成支援

■事業説明：地域の子どもたちに本の楽しさ、面白さを知ってもらうために、地域福祉文庫の設置を行った。現在では4文庫が活動を行っている。平成18年に、5つの文庫による連絡協議会を設立した。

■活動内容：各文庫間の情報交換、絵本の素晴らしさや絵本を通じた親子のふれあいの大切さなどを伝えるための活動を支援。また、各文庫活動の質の向上を図るため、会員の研修会の実施を支援した。

実施事業	実施時期	主な活動内容
講演会	10月29日	場 所：メイトム宗像 202 会議室 演 題：ふんわりほんわり あったかい 本と出会って 本当によかった ～スマホに子育てさせていませんか～ 講 師：福岡おはなしの会 元代表 八尋 理恵 氏 内 容：読み聞かせの仕方や本の選定について

■助成内容：宗像市地域福祉文庫連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	286,000円	235,000円	215,000円

(3) 宗像市母子寡婦福祉会活動助成支援

■事業説明：母子家庭の母親の就労支援や子育て支援、福祉の向上を図るため、宗像市母子寡婦福祉会活動への支援・協力を実施

■活動内容：宗像市母子寡婦福祉会へ活動補助金の交付、事業の活動支援等を行った。

■活動支援の内容

実施時期	実施事業	主な活動内容
11月1日	一日バスハイクへの支援	訪問先：秋吉台自然動物公園サファリランド 参加者：23人 支援内容：事業に関する連絡調整や参加者の募集、事業の進行や安全管理等について協力を行った。
2月に1回程度	サロン活動支援	実施回数：3回 のべ参加者：54人 支援内容：会員親子の交流と新規会員確保のための川遊び、クリスマス会等の実施に関する協力を行った。

9 福祉教育の推進

(1) 福祉教育推進校（園）指定事業の実施

①福祉教育推進校（園）の指定

■事業説明：平成 18 年度から福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を対象に「推進校」を指定し、子どもへの福祉教育を推進・強化した。

指定校（園）数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】

②福祉教育推進校（園）への福祉体験学習等の支援

■事業説明：福祉教育推進校（園）が実施する福祉体験学習等の実施を支援した。

■実施校数：小学校 12 校+中学校 2 校+高校 2 校

■支援回数：80 回（日）+高校 7 日

対象者数	学校／学年	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
	小学校	43 人	44 人	516 人	731 人	414 人	262 人	2,010 人
中学校	0 人	0 人	206 人				206 人	
高 校	0 人	309 人	6 人				315 人	
							平成 27 年度 合計	2,531 人
							平成 26 年度 合計	2,141 人
							平成 25 年度 合計	1,896 人

■主な支援内容

学校名	対象者	主な活動内容
吉武小学校	3 年生 (13 人)	■実施日 ：10 月 5 日、10 月 19 日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容 ：もこ体験（聞こえない世界についての学習）・「伝えること」についてのお話し・聴覚障がい者との交流・手話体験
	4 年生 (13 人)	■実施日 ：10 月 13 日・10 月 26 日・11 月 2 日 ■主な協力者 ：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容 ：ガイド・アイマスク・点字体験、視覚障がい者との交流
	5 年生 (16 人)	■実施日 ：6 月 22 日・7 月 3 日 ■主な協力者 ：車いす利用者 ■主な内容 ：車いす体験、車いす利用者との交流会
	6 年生 (14 人)	■実施日 ：2 月 10 日 ■主な協力者 ：地域の高齢者、保護者 ■主な内容 ：高齢者擬似体験、高齢者へのインタビュー、高齢化率などの講話
赤間小学校	4 年生 (176 人)	■実施日 ：6 月 16 日、19 日、22 日、23 日、25 日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、保護者 ■主な内容 ：ガイド・アイマスク体験、点字体験、視覚障がい者との交流

	5年生 (140人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：6月10日、15日、16日、24日 ■主な協力者：車いす利用者、保護者 ■主な内容：車いす体験学習、車いす利用者との交流
自由ヶ丘小学校	5年生 (100人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：1月25・28・29日・2月3日 ■主な協力者：自由ヶ丘地区福祉会役員と福祉委員・保護者 ■主な内容：高齢者疑似体験・認知症サポーター養成研修
自由ヶ丘南 小学校	3年生 (77人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月6日、23日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容：「聞こえない・聞こえづらいということ」、聴覚障害の方への伝える方法についてのお話し・聴覚障がい者との交流・手話体験
	4年生 (73人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月30日、10月14日・20日・23日・11月10日 ■主な協力者：ガイドボランティア「アイフレンド」・点訳ボランティア「てんとうむし」・視覚障がい者 ■主な内容：アイマスク体験・点字体験・視覚障がい者との交流
赤間西小学校	3年生 (83人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：2月3・19・3月8日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：もこ体験(聞こえない世界についての学習)・聴覚障害者との交流・手話学習・なかよし集会/活動発表
	4年生 (70人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月14・16・24日・10月1・5・14日 ■主な協力者：点訳ボランティア「てんとうむし」・ガイドボランティア「アイフレンド」・視覚障がい者 ■主な内容：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験(保護者・教職員・児童)/基礎編・応用編・点字体験/基礎編・応用編・学習したことの報告・交流会
	6年生 (67人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月7・9・11・17・30日・10月5日・11月14日・2月25日 ■主な協力者：赤間西地区福祉会役員・地区内小地域福祉会役員・赤間西地区民生委員児童委員協議会 ■主な内容：赤間西地区の現状・高齢化に関する講話・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座・民生委員の役割について・一人暮らし高齢者宅の訪問活動・感謝の会
東郷小学校	3年生 (113人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月30日・11月9日・12月7日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験
	4年生 (90人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月8日・28日・10月9日・22日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験(児童及び保護者)点訳体験、視覚障がい者との交流会
日の里西小学校	3年生 (50人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月1日・16日・11月15日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：もこ体験(聞こえない世界についての学習)・聴覚障がい者との交流・手話体験、保護者へ発表
	4年生 (54人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月16日・10月1・7・15・16・28日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験(保護者・教職員・児童)/基礎編・応用編・点字体験/基礎編・応用編・学習したことの報告・交流会
	5年生 (49人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：6月30日・7月7日 ■主な協力者：車いす利用者 ■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会

	6年生 (72人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：2月5・6・10日 ■主な協力者：社協 ■主な内容：高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座
日の里東小学校	1年生 (43人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：3月7日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験
	2年生 (44人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：3月7日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験
	3年生 (54人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月2・9日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：もこ体験(聞こえない世界についての学習)・聴覚障がい者との交流・手話体験(グループ学習)
	4年生 (43人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月29日、10月6・13・28日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験(保護者・教職員・児童)/基礎編・点字体験/基礎編・学習したことの報告・交流会
河東小学校	3年生 (126人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：1月29日、2月16日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験等
	4年生 (98人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月11日、9月18日、10月9日 ■主な協力者：視覚障がい者・点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流会
	5年生 (109人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：7月2日、7月3日、7月6日 ■主な協力者：車いす利用者 ■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会
	6年生 (109人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月3日・10日・15日・29日、10月5日・14日・23日 ■主な協力者：河東地区福祉会役員・地区内小地域福祉会役員・民生委員児童委員、保護者・地域の高齢者 ■主な内容：河東地区の現状・高齢化に関する講話、高齢者疑似体験、福祉会・民生委員児童委員についての講話・認知症サポーター養成講座、見守り訪問活動
河東西小学校	4年生 (74人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月6日・11月19日・26日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験(保護者、児童)、点訳体験、視覚障がい者との交流会
玄海小学校	4年生 (17人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月9日、11月11日・16日・27日、12月17日 ■主な協力者：視覚障がい者・朗読ボランティア「ふれあい玄海」・点訳ボランティア「ねむの会」・聴覚障がい者・手話サークル「ゆび」・保護者・地域の高齢者・田島・神湊地区福祉会 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流、手話体験、聴覚障がい者との交流、田島・神湊地区福祉会ふれあいお楽しみ会で高齢者との交流会
玄海東小学校	4年生 (23人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月7日・16日・19日・23日、11月14日 ■主な協力者：視覚障がい者・朗読ボランティア「ふれあい玄海」・点訳ボランティア「ねむの会」・聴覚障がい者・手話サークル「ゆび」・保護者、文化発表会 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流、手話体験、聴覚障がい者との交流、文化発表会

日の里中学校	3年生 (113人)	■実施日：11月21日 ■主な内容：認知症サポーター養成講座
中央中学校	3年生 (93人)	■実施日：1月16日 ■主な内容：認知症サポーター養成講座
東海大学 第五高等学校	1～3年生 (8人)	高校生ボランティアスクールのページを参照
宗像高等学校	2年生 (307人)	高校生ボランティアスクールのページを参照

③福祉教育推進校連絡会の実施

■事業説明：「福祉教育推進事業実施要綱」により指定を受けた保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校による福祉教育推進校（園）の連絡会を2回開催した。

実施事業	実施日時	主な内容
第1回連絡会	■7月1日 ■メイトム宗像 健診室	①福祉体験学習のご案内 ➡福祉教育の申込等について ②各園校の福祉教育の取組み報告 ③宗像市福祉教育セミナーの開催案内 ④福祉教育読本「ともに生きる」の活用依頼 ⑤福祉絵画コンクールの協力依頼 ⑥ジュニアボランティアスクール開催案内・他
第2回連絡会	■2月24日 ■メイトム宗像 健診室	①福祉教育推進事業に係る報告書類の事務手続きについて ②福祉絵画コンクールおよび福祉教育読本「ともに生きる」感想文の作品集『ともだち』の配布 ③学校での福祉学習 事例報告 ●学校生活における「おもちゃ図書館」の活用について ➡講師：ボランティアセンター職員 後藤真保 ●日の里中学校の取組みについて ➡講師：教頭 花田武美先生

④福祉教育読本「ともに生きる」の配布と活用の推進

■事業説明：市内の小学5年生を対象に福祉読本「ともに生きる」を配布し、読后感想文を募集して、優秀な感想文には表彰を行った。優秀な作品は「市民活動交流館まつり」当日メインステージで表彰を行い、作品集「ともだち」を作成し、本会ホームページにて公開した。

■活動内容：市子どもまつり(ユリックス)会場にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品および参加賞を贈呈した。

■対象児童：市内全小学校 5年生

■活用冊数：867冊（全5年児童）

■応募数：88作品（29クラス）

■表彰日：11月1日「市子どもまつり（ユリックス）」

⑤福祉絵画コンクールの開催

■事業説明：福祉教育推進校（園）等の子どもたちやその保護者に、福祉への関心を高めてもらうため「思いやり・優しさ」をテーマに絵画コンクールを実施。

■活動内容：市子どもまつり会場(ユリックス)にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品および参加賞を贈呈した。

■応募対象：市内全保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童生徒

■表彰期日：11月1日「市子どもまつり（ユリックス）」

参加作品総数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	317作品	344作品	196作品

(2) 地域福祉推進事業所職員研修協力事業

■事業説明：地域の事業所が行う職員研修に「ノーマライゼーション」や「ボランティア」「地域福祉」「認知症」「見えにくい障がい」等の要素を付加した研修を行う場合に、福祉教育の観点から「地域福祉推進事業所」として研修を支援した。

実施事業	実施日時	主な内容
宗像市シルバー人材センター	4月21日	内 容：認知症サポーター養成講座 参加者：26人 場 所：宗像市シルバー人材センター研修室
中京薬品株式会社宗像営業所	8月3日	内 容：認知症サポーター養成講座 参加者：3人 場 所：中京薬品株式会社宗像営業所
ドットコムコミュニケーションズ（宗像ユリックス図書館）	11月16日	内 容：認知症サポーター養成講座 参加者：30人 場 所：宗像ユリックス図書館
宗像市初任層職務支援研修	12月8日	■研修内容 ・身体、知的、精神、発達障がいなどに関する知識や、障害模擬体験、窓口対応等の具体的コミュニケーション方法等について。 ・ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョン、障害者差別解消法の概念などについて。 参加者：宗像市役所入庁3・4年目の職員25人 場 所：宗像市役所内会議室
宗像市役所	2月16日	内 容：認知症サポーター養成講座 参加者：18人 場 所：宗像市役所内会議室

(3) 社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

■事業説明：将来、社会福祉の専門職もしくは専門資格を取得することを目的として社会福祉の現場（本会）で実習を希望する者の受け入れを福祉教育の一環として行った。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実習生 受入実績	■福岡教育大学 2人 期間：7月3日～7月19日（実質12日間） ■西南学院大学 1人 期間：8月9日～9月25日（実質24日間） ■西南女学院大学 2人 期間：8月9日～9月25日（実質24日間）	■福岡教育大学 4人 期間：10月3日～10月20日（実質12日間） ■西南学院大学 2人 期間：8月18日～9月19日（実質24日間） ■福岡県立大学 1人 期間：8月18日～8月22日（実質5日間）	■福岡教育大学 2人 期間：10月1日～10月19日（実質12日間） ■西南学院大学 3人 期間：8月11日～9月17日（実質24日間） ■福岡県立大学 1人 期間：8月11日～9月17日（実質24日間）

(4) 第11回宗像市福祉教育セミナーの開催

■事業説明：福祉教育推進校（園）の先生や地域福祉の推進に関わる人に福祉教育への理解と、地域福祉への参画を推進するため、平成17年から標記セミナーを開催している。

■事業内容：第11回の福祉教育セミナーのテーマは「認知症」。認知症になっても安心して徘徊できるまち、住み慣れた地域で自分らしく生きていけるまちづくりのために私たちにできることは何か…。という内容の講演会を開催した。

■実施期日：8月11日(火) 13:30～15:30

■実施場所：メイトム宗像 多目的ホール

■実施内容：

項目	主な内容
講演	“安心して徘徊できるまち 宗像市をめざして” ～大牟田市徘徊 SOS ネットワーク模擬訓練から学ぶ～
講師	大牟田市認知症ライフサポート研究会 代表 大谷るみ子 氏

■参加者数：

参加者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	187 人	414 人	223 人

(5) ワクワク WORK の受け入れ

■事業説明：福祉教育の一環として、市で取り組む「ワクワク WORK」の受け入れを行い、社会福祉協議会の活動やボランティア活動、「赤い羽根共同募金運動」などについて学ぶ機会とし、最終日に学んだことを報告する報告会を実施した。

■期 間：9月7日（月）～11日（金）の5日間

■内 容：総務・福祉係に2人、のぞみ園に2人 計4人

10 活動財源の確保

(1) チャリティーボウリング大会

■事業説明：健康づくりとチャリティーを目的としたボウリング大会。市内外の地域福祉推進事業所と市民によって支えられている。

■期 日：2月26日（金）

■会 場：宗像シティボウル（王丸）

■協賛等：市内外の多くの事業所に賞品や資金の提供や宣伝活動、参加協力等を受けている。

事業実績	項目／年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	参加者	125 人	128 人	130 人
	益金額	269,114 円	308,568 円	317,650 円

(2) 共同募金・宗像市社協自動販売機の設置

■事業説明：自動販売機で飲料水等を買うと本会等に寄付が行われる「寄付つき商品型自動販売機」の設置を推進した。

■設置状況：設置場所 計 12 か所 設置台数 計 16 台

設置台数と実績額	項目／年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	合 計	台 数	4 台	2 台	2 台（設置） 1 台（撤去）
		※金額	484,052 円	428,118 円	723,924 円
		差 異		-55,934 円	298,806 円

※金額には、共同募金配分金は含まない。また自販機電気代支払後の額。

(3) 香典返し・一般寄付等の高額寄付者への感謝状の贈呈と初盆参りの実施【新】

■事業説明：香典返しの寄付や一般の寄付などの受け入れを行った。また今年度から本格的に30,000円以上の寄付者に感謝状を贈呈し、50,000円以上の場合は、初盆参りも実施した。

事業実績	項目／年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	感謝状贈呈数	41 件	38 件	25 件
	香典返寄付金	114 件 (2,745,000 円)	134 件 (3,057,994 円)	113 件 (2,488,000 円)
	一般寄付金	10 件 (688,247 円)	11 件 (459,778 円)	11 件 (531,993 円)
	計	124 件 (3,433,247 円)	145 件 (3,517,772 円)	124 件 (3,019,993 円)

(4) ファンドレイジング（資金調達）に関する調査研究ならびに実験事業の実施【新】

① ファンドレイジング（資金調達）に関する研修の実施

■事業説明：「2 法人運営に関する事業③理事研修会の開催」に同じ。

② 福祉機器貸出の有料化

■貸与品：車イス（自走式・介助式）

■対象者：高齢者や傷病者の介護など一時的に必要な人に貸出を行った。

■料金等：運営協力費として1回 500 円

■期 間：1～30 日間（原則として1回1 ヶ月以内ですが、更新2 回まで可）

■事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行った。

事業実績	項目／年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	延べ利用件数	205 件	215 件	196 件
	運営協力費	102,500 円	107,500 円	98,000 円

③ イオングループ黄色いレシート活動への参加

■内 容：イオングループ黄色いレシート活動に参加し、イオンモール福津の買い物客が黄色いレシートで投票した金額の1%相当額の現物寄附を受けた。

年 度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
寄附の内容	総計額	1,625,674 円	1,441,153 円	1,135,933 円
	寄付金額	16,300 円	14,500 円	11,300 円

※寄付金額相当の物品寄付

11 ボランティア活動・市民活動の促進

(1) ボランティアセンター事業の適切な運営

①ボランティア登録事業の促進およびV-netの効果的運営

ボランティア登録事業実績		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
ボランティア登録	提供個人	35 件	31 件	31 件
	提供団体	4 件	3 件	3 件
	依頼個人	2 件	2 件	0 件
	依頼団体	10 件	12 件	7 件
	依頼申込個人	46 件	47 件	56 件
	依頼申込団体	36 件	43 件	60 件
ボランティア活動状況	件数	440 件	365 件	416 件
	活動人数	2,373 人	1,966 人	2,094 人
	調整数	379 件	465 件	697 件
HPアクセス数	アクセス件数	2,213 件	2,840 件	2,309 件
センター利用状況	窓口	2,102 件	2,228 件	2,002 件
	電話	1,276 件	1,178 件	1,332 件
	合計	3,378 件	3,406 件	3,334 件
	対前年比		100.8%	97.9%

■ボランティア活動分野別登録状況

	福祉	保健医療	環境	観光	国際交流	まちづくり	子ども	学習	合計
個人(人)	457	67	95	95	66	73	163	85	1,101
	41.5%	6.1%	8.6%	8.6%	6.0%	6.7%	14.8%	7.7%	
団体(団体)	67	6	14	4	3	8	13	14	129
	51.9%	4.6%	10.9%	3.1%	2.3%	6.2%	10.1%	10.9%	

※ボランティア活動分野別登録状況は、V-net 開設時（平成 14 年 3 月）からの累計。

②宗像市市民活動交流館の企画運営への協力

■事業説明：NPO、ボランティア団体の活動を支援および協働し、市民活動交流館の運営などについて協議や検討を行った。

■事業内容：毎月開催されたメイトム会議（市民活動交流館企画運営委員会）に出席した。

実施事業	実施時期	主な活動内容
メイトム会議 (企画運営委員会)	■毎月第4火曜日 ■メイトム宗像	※17:30 開始

(2) ボランティア講座の開催

①ボランティア入門講座

■事業説明：ボランティア活動を始めたい人、始めて間もない人、ボランティア活動および、この講座に関心のある人を対象に開催した。

■事業内容：ボランティア活動についての基本学習と体験学習を実施した。基本学習では、ボランティアを始めるにあたっての基礎知識を学んだ。また、5つのグループに分かれ、「アロマ石鹸香り袋」を作った。アロマ石鹸入り香り袋には名前と効能などメッセージ入りのカードを添えて、名刺がわりのお近づきのしるしとして、これからボランティア活動をはじめるときかけとして役立ててもらった。アロマの効能の学習やアロマボランティア活動のひとつ、温もりを伝える肩と背中の中の優しいマッサージ「バックトリートメント」の方法も学んだ。また、募集中のボランティア活動を紹介し、実活動につながる情報を提供した。

- 実施期日：11月11日（水）
- 実施場所：メイトム宗像 調理室
- 講師：体験学習・あるぼら 代表 河村 寛子氏 他

参加者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
		22 人	20 人

②ジュニアボランティアスクール

- 事業説明：福祉教育推進計画に基づき、小学生と中学生を対象に、福祉教育拡大・発展型のボランティア体験学習を実施した。今年度は、低学年(バンビコース 小学1～3年とその保護者)と高学年(ピッコラコース 小学4年以上)のコースを設けた。

1) バンビコース

- 事業内容：「高齢者」について理解を深めるため、高齢になった時の身体や心の変化、認知症の学習を実施した。また、敬老の日のプレゼント用にトールペイントで物作りをした。ふり返りでは、ごみ捨てや料理を一緒にするといった家事援助など、今自分ができることで、困っている高齢者に対して役立つことがあることに気づいた。修了後、参加者全員「こども福祉員（通称：バンビ）」に任命された。

実施時期	内 容
■8月22日 ■メイトム宗像 健診室 101 会議室	<input type="checkbox"/> レクリエーション <input type="checkbox"/> にんちしょうって、なあに？（認知症サポーター養成講座） <input type="checkbox"/> プレゼントをつくろう！（トールペイントで小物入れ作り） （講師：むなかた市民学習ネットワーク 松井益美氏）

2) ピッコラコース

- 事業内容：「高齢者」、「環境」、「歴史」に関して学習した。疑似体験や認知症に関する学習、再生可能エネルギー、産業発展に関することなど、施設の見学や様々な人々との交流及び共同学習を通じ、誰もが安心して暮らす社会になるために、今の自分にできることを考えた。修了後、参加者全員「こども福祉員（通称：ピッコラ）」に任命され、「他人を思いやり、大切にし、自発的に行動する」という目標を立てた。

- 実施期日：バンビコース／8月22日

ピッコラコース／8月5・6・7日(合計3日間)

- 実施場所：市民活動交流館「メイトム宗像」、北九州次世代エネルギーパーク、北九州イノベーションギャラリー（北九州市）、福岡県介護実習・普及センター（中間市）

実施時期	内 容
■8月5日 ■メイトム宗像 健診室 202 会議室 203 会議室	<input type="checkbox"/> レッツ！レク （協力：宗像市レクリエーション協会） <input type="checkbox"/> なんだろう、認知症って…認知症サポーター養成講座 <input type="checkbox"/> にじいろプロジェクト…ハンドマッサージ体験学習 （講師：福祉ボランティア にじいろぼけっと） <input type="checkbox"/> 地球を守るために… （講師：エコライフ市民の会）
■8月6日 ■北九州市	<input type="checkbox"/> フィールドワークⅠ（環境学習）～北九州次世代エネルギーパーク～ ●施設見学 ●自然エネルギーについて ●風力発電 NS ウィンドパワーひびき、白島展示室見学 <input type="checkbox"/> フィールドワークⅡ（産業歴史見学）～北九州イノベーションギャラリー～ ●産業技術史学習 ●東田第一高炉史跡見学 ●鉄工作体験学習（文鎮作り）
■8月7日 ■メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> フィールドワークⅢ、Ⅳ ～福岡県介護実習・普及センター～ ●車イス体験 ●高齢者疑似体験

<input checked="" type="checkbox"/> デイサービス利用者とのふれあい交流会 <input type="checkbox"/> ふりかえり学習 <input checked="" type="checkbox"/> 「こんなこと学びました」個人・班ワーク、発表
--

参加者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	20 人	14 人	バンビ ピッコラ	7 人 13 人

③高校生ボランティアスクール

■事業説明：福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、市内にある2高等学校を「推進校」を指定し、福祉教育を推進・強化した。各高校の生徒、教諭を対象にしたボランティアスクールで、今できるボランティア活動、また将来経験を重ねて取り組む場合に予備知識となるような学習を実施した。

■事業内容：

- ・今年度もノーマライゼーションの理念に基づく「共生」をテーマに、地域社会の課題を「自分たちの問題」としてとらえる学習内容に力を入れた。
- ・宗像高等学校では、教育課程「家庭基礎」の単元で「高齢者」について学んだ2年生を対象として、5日間に渡り、認知症に対する理解を深める学習に取り組んだ。
- ・東海大学附属第五高等学校（現*）では、1日目にボランティアの基本学習としてボランティアと障がいについて学び、体験学習として手話に挑戦した。2日目は、認知症サポーター養成講座、マイ箸づくり体験を通じて3R（リデュース・リユース・リサイクル）について学習した。

参加者数	項目/年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	東海大学第五高等学校（*）	19 人	11 人	8 人
宗像高等学校	22 人	309 人	307 人	

【東海大学第五高等学校（現：*）】

実施時期	実施場所	内容
7月24日	■東海大学附属第五高等学校（現*）	<input type="checkbox"/> ボランティア基礎学習 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアについて <input checked="" type="checkbox"/> 見えにくい障がい（精神・知的・発達障がい）について <input type="checkbox"/> 手話に挑戦しよう <input checked="" type="checkbox"/> 手話について学ぼう <input type="checkbox"/> 手話コーラスに挑戦しよう <input checked="" type="checkbox"/> 手話の歌を学ぼう <input checked="" type="checkbox"/> 手話コーラス実演 （講師：手話サークルシュワッチ 青木 光子氏他）
7月25日	■東海大学附属第五高等学校 ■臨海3Rステーション	<input type="checkbox"/> 認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座） <input type="checkbox"/> 3Rについて学ぼう <input checked="" type="checkbox"/> マイ箸づくり体験学習 <input checked="" type="checkbox"/> 施設見学・3R学習

【宗像高等学校】

実施時期	実施場所	内容
7月2・3・6・7・8日	宗像高等学校	<input type="checkbox"/> 高齢者理解の学習 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座） （講師：宗像市社会福祉協議会職員）

④福祉ボランティア養成講座

■事業説明：ボランティア活動を始めたい、またはすでに活動しているが、他のボランティア活動も興味がある市内在住者などを対象に開催した。

■事業内容：今年度は、聴覚や視覚のハンディキャップなどにより、情報を得ることが困難な人に対し、情報伝達の橋渡しをするボランティア活動を学んだ。初日に「自分を知り、相

手を知る」と題し、障がい理解に関する講演を実施した。2 日目以降は、ボランティアに関する基礎学習を踏まえ、「要約筆記ボランティア」と「音訳ボランティア」について体験学習をメインに学んだ。

■実施期日：3月2・4・9・11・16日（合計5日間）

実施時期	実施場所	内容
3月2日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> アイスブレイク <input type="checkbox"/> 自分を知り、相手を知る～障がい理解～ (講師：福岡県発達障害者支援センター 前センター長 木藤政博氏)
3月4日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> ボランティア活動の現状について <input type="checkbox"/> 要約筆記ボランティア/基礎 (講師：要約筆記ボランティア 暖歩)
3月9日	メイトム宗像 102 会議室	<input type="checkbox"/> 音訳ボランティア/基礎 (講師：声の広報ボランティア 森林都市うぐいす)
3月11日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> 要約筆記ボランティア/応用 (講師：要約筆記ボランティア 暖歩、聴覚障がいのある人)
3月16日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> 音訳ボランティア/応用 (講師：声の広報ボランティア 森林都市うぐいす) <input type="checkbox"/> これからのボランティア活動/ふり返り

■参加者数：

参加者数	平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度
	27 人	傾聴	15 人	31 人
	癒し (美容)	10 人		

(3) ボランティア活動との連携・支援強化

①福祉ボランティア活動連絡協議会の育成・補助

■事業説明：福祉ボランティア活動連絡協議会の役員会・運営委員会への参加・助言。自主研修会、総会などへの助言・指導。各ボランティアグループへの個別指導・助言。福祉教育現場での参加支援。行政や各施設で行われるイベントへの参加支援。本会「福祉ボランティア養成講座」を経て結成されたグループが加入し、12 団体が所属している。

■活動支援の内容

実施事業	実施時期	主な活動内容
役員会	毎月 1 回開催	※毎月最終週のいずれか平日：午後 7 時～
運営委員会	毎月 1 回開催	※毎月第 1 水曜：午後 7 時 30 分～
定期総会	4 月 18 日	場 所：メイトム宗像
全体研修	9 月 25 日	場 所：直方市 テーマ：地域における認知症サポート体制構築について 講 師：直方市認知症サポーターを広める会
	10 月 6 日	場 所：メイトム宗像 テーマ：認知症サポーター養成講座 講 師：宗像市社会福祉協議会職員
	平成 28 年 2 月 5 日	場 所：メイトム宗像 テーマ：認知症サポーターステップアップ講座 講 師：福岡県社会福祉協議会職員
役員研修	10 月 15 日	場 所：クローバープラザ テーマ：ボランティアスキルアップ講座 いっしょにやる、ということ。～対話を通じて組織の足腰を強くしよう～ 講 師：九州大学大学院統合新領域学府客員准教授加留部貴行氏

視察研修受入	12月1日	場 所：メイトム宗像 訪問者：佐賀市ボランティア連絡協議会、佐賀市社会福祉協議会
--------	-------	---

■宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援

補助金交付額	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	435,000 円	510,000 円	460,000 円

②ふくおか「きずな」フェスティバルへの参加・協力

■事業説明：県内で開催されるボランティア等のフェスティバル。現在は、「ふくおかボランティアのつどい」と「ふくおか子どもすくすくフェスタ」を統合して開催されている。

■事業内容：ふくおか「きずな」フェスティバルに参加

□講 演：地域での暮らしを支えるために今
講 師：認知症介護指導者 ビーイングの会

□ボランティア活動別分科会

■実施期日：平成 28 年 2 月 21 日

■実施場所：クローバープラザ（春日市）

■参加者数：福祉ボランティア活動連絡協議会員 33 人

③ボランティア活動振興基金積立事業

■事業説明：福祉ボランティア活動振興基金の基金果実を福祉ボランティア活動連絡協議会に助成した。

実績額	項目／年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	基金果実	2,810 円	2,810 円	6,435 円
	助成金額	10,000 円	10,000 円	10,000 円

④ボランティア保険加入補助

■事業説明：V-net に登録している個人及び団体ボランティアや福祉会のボランティアなどがボランティア活動保険に加入した際に、その保険料一人 150 円を補助した。

合計補助金額	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	182,000 円	175,000 円	180,000 円

12 赤い羽根共同募金運動への協力

(1) 共同募金への協力

■組織体制

福岡県共同募金会の支部組織「福岡県共同募金会宗像市支会」として、理事会を開催、当該年度の募金目標額や募金活動について審議、決定した。理事は、地区自治会長会代表 12 人、民生委員・児童委員協議会会長 1 人、商工会より 1 人、老人クラブ連合会会長 1 人、市執行部（健康福祉部長）1 人、識見を有する者 1 人（社会福祉協議会会長）により構成されている。

■福岡県共同募金会宗像市支会

「福岡県共同募金会宗像市支会」（事務局：社会福祉協議会）として募金活動を行った。

■募金方法と募金実績額

毎年 10 月 1 日～12 月 31 日までの間で募金活動を行った。

年度実績		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
項目	■戸別募金	11,306,911 円	10,984,939 円	11,025,578 円
	■街頭募金	163,902 円	157,093 円	151,815 円
	■学校募金	185,149 円	125,336 円	160,019 円
	■職域募金及び資材を活用した募金	688,525 円	680,006 円	700,872 円
	■イベント募金	130,360 円	98,058 円	120,617 円
	■個人募金、その他	151,968 円	174,880 円	178,120 円
	実績額合計	12,626,815 円	12,220,312 円	12,337,021 円
対前年比		96.8%	101.0%	

■配分実績

平成 27 年度募金実績額に対する福岡県共同募金会から宗像市への配分先と配分金額は次のとおり。

	配分先	配分金額
■地域配分 (B 枠) 福岡県共同募金会から宗像市社会福祉協議会に、申請に基づいて配分される。本会の理事会・評議員会で承認された地域福祉活動を行う事業費。	高齢者福祉に	1,176,000
	児童・青少年福祉に	1,251,072
	障がい児・者福祉に	2,108,000
	子育て支援活動に	550,000
	ボランティア活動に	484,000
	福祉活動の支援に	2,781,000
	情報提供・啓発活動に	478,000

(2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

※7 低所得者福祉事業の推進 (2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分を参照。

13 障害者生活支援センター運営事業

■宗像市委託事業

(1) 障害者生活支援センター事業

■事業説明：障害者生活支援事業は、宗像市に居住する障がい者に対し、保健福祉サービスの利用促進、および各種情報の提供、相談・助言等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■事業内容：○福祉サービスの利用援助
 ○社会資源を活用するための支援
 ○社会生活力を高めるための支援
 ○当事者相談(ピアカウンセリング)
 ○専門機関の紹介・連携
 ○サービス利用計画の作成及び評価
 ○権利擁護のための必要な援助

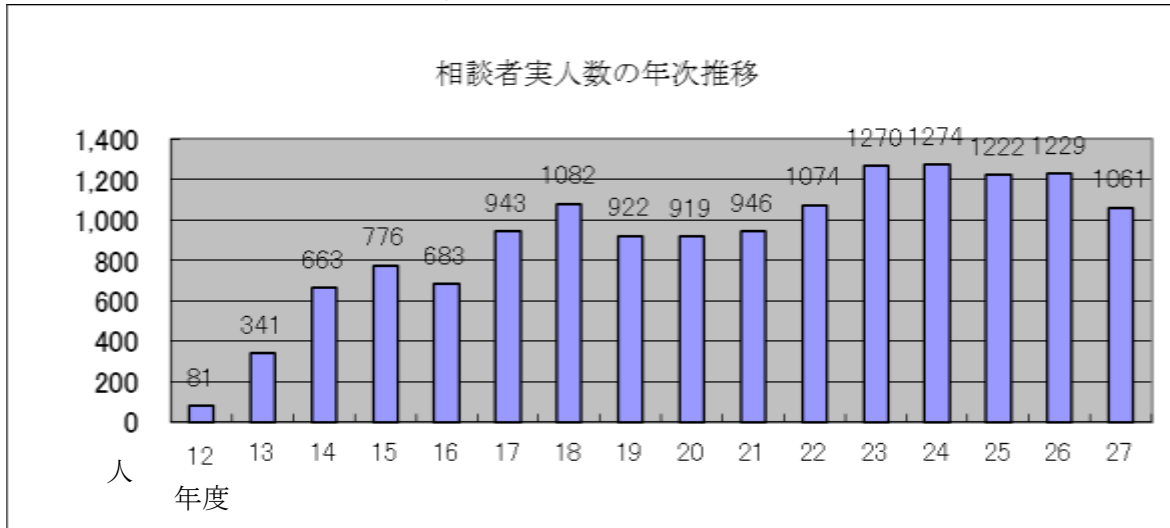
■職員体制：○センター長 1 人
 ○相談員 3 人
 ○ピアカウンセラー 6 人

■開所日時：①月・火・水・木・金曜日 (8時30分～17時)

※土・日曜日・国民の祝日・年末年始は定休日

②ピアカウンセリング (10時～15時)

■センター利用状況・相談件数：1,061人



■相談実績件数①（区分別）

項目／月	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
①ホームヘルプサービス	553	388	361
②ガイドヘルプサービス	102	139	59
③地域活動支援センター・デイサービス	97	109	160
④ショートステイ	149	99	105
⑤ケアホーム・グループホーム等	147	144	152
⑥入所施設利用の援助	143	141	120
⑦通所施設利用の援助	453	575	500
⑧福祉機器の利用援助	133	126	46
⑨食事・調理に関すること	26	22	18
⑩サービス利用計画作成および介護相談	959	1,093	982
⑪権利擁護・生活安定面の支援	333	370	269
⑫申請代行その他保健・福祉・医療に関する支援	571	447	355
⑬情報機器等の利用援助	5	15	14
⑭コミュニケーションの支援	84	61	44
⑮移動・外出の支援	209	200	253
⑯住宅の紹介、改修の支援	78	77	114
⑰生活情報の提供	101	232	320
⑱障害者団体の紹介	17	17	10
⑲ボランティア NPO 等の紹介	33	9	15
⑳就労・就学に関する支援	495	472	548
㉑福祉資源形成の支援	39	30	9
㉒金銭管理の支援	129	185	274
㉓健康管理の支援	460	718	659
㉔講座・教室、余暇・趣味の紹介	91	75	91
㉕ピアサポートに関すること	102	94	79
㉖専門機関の紹介	216	171	133
㉗その他の必要な生活支援	1,233	1,291	940
計	6,958	7,300	6,630

■相談実績件数②（相談方法別）

項目／月	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
①来 所	846	677	776
②電 話	1,123	1,167	1,149
③文書（メール等）	118	82	49
④訪 問	1,083	767	870
⑤同 行	57	79	130
⑥個別支援会議	972	1,786	2,061
⑦関係機関	2,759	2,742	1,595
計	6,958	7,300	6,630

■障がい種別件数①（障がい者）

項目／月	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
①肢体不自由	1,145	952	612
②聴覚障害	161	131	381
③言語障害	4	3	56
④視覚障害	299	306	182
⑤内部障害	19	15	27
⑥発達障害	215	324	293
⑦高次脳機能障害	195	72	70
⑧知的障害	1,569	1,668	1,106
⑨精神障害	1,955	2,073	2,180
⑩重複障害	810	1,122	741
⑪不 明	111	160	199
⑫な し	56	33	113
計	6,539	6,859	5,960

■障がい種別件数②（障がい児）

項目／月	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
①肢体不自由	130	193	145
②聴覚障害	0	0	0
③言語障害	0	0	0
④視覚障害	0	0	0
⑤内部障害	0	0	0
⑥発達障害	26	36	175
⑦高次脳機能障害	38	3	0
⑧知的障害	62	161	230
⑨精神障害	0	0	3
⑩重複障害	153	39	102
⑪不 明	3	4	13
⑫な し	7	5	2
計	419	441	670

（2）障害者生活支援センター主催事業

①ピアサポート事業

■事業説明：ピアサポーターと利用者が出会った交流により情報を共有し、当事者間のネットワークを構築することを目的としてピアサポート事業を実施。

■参加費：無料（実費負担あり）

■実施内容

実施日	内容	参加人数	場所
6月28日	簡単ピザ&デザートを作ろう	16	自由ヶ丘地区コミセン、サニー
10月18日	ボウリングを楽しもう	16	宗像シティボウル
2月28日	貼り絵の作品を作ろう	12	河東地区コミセン

②ピアサポーターだより「すまいる」発行事業

■事業説明：ピアサポーターの活動および障害者福祉制度やサービス、ボランティア等の情報を当事者や市民、関係機関等に周知し、情報を共有することを目的に広報紙を発行。

■発行回数：年3回

■発行部数：750部

■配布先：各福祉施設、福祉会、当事者団体、関係機関等

■実施内容：事業紹介、生活情報、ボランティア紹介、バリアフリー情報など

③パソコン勉強会

■事業説明：当センターのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象にパソコンの勉強会を実施。

■開催日時：第2・4火曜日（13:00～15:00）

■開催場所：宗像市役所内

■参加費：無料

■のべ参加者数：33人

④手話勉強会

■事業説明：当センターの聴覚障がいのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象に手話の勉強会を実施。

■開催日時：第4木曜日（13:30～15:00）

■開催場所：メイトム宗像内

■参加費：無料

■のべ参加者数：57人

(3) 障害者生活支援センターのその他の関連事業

■会議や研修への参加・協力

会議・研修名	実施時期
障害者自立支援協議会 本会議	5月27日、3月11日
障害者自立支援協議会 相談支援ネットワーク会議	6月16日、3月24日
障害者自立支援協議会 生活部会（児童部会）	7月8日、11月6日、2月8日
障害者自立支援協議会 就労部会	1月19日、2月29日
障害者自立支援協議会 事務局会議	月1回開催
ピアサポーター会議	月2回開催
市民後見人制度基礎講座	全6回
相談支援ネットワークふくおか（仮称）を創設するための世話人会	5月23日
やまが成年後見センター視察研修	6月26日
宗像市大規模国際大会キャンプ地誘致推進本部推進部会	8月26日、10月30日
福津市社協法人後見事業視察研修	9月2日
福岡県相談支援従事者初任者研修	9月14日、9月15日、10月23日、11月12日、11月13日
福津市障害者虐待防止研修会	9月28日
福岡県障害者虐待防止・権利擁護研修会	10月14日、21日
消費生活サポーター育成講座	10月19日
地域自立支援協議会担当者会議	10月26日

心の健康づくり講演会	11月12日
ふくデイ家族会講演会	11月27日
第2回就労移行当事者セミナー	12月5日
宗像・遠賀地域精神障害者地域支援実務者会議	12月9日
相談支援従事者現任研修（事例発表）	12月14日
慢性疾病療養児童等在宅医療講演会	1月29日
福岡県知的障害者相談員研修会	2月13日
福岡県発達障害者支援体制整備検討委員会	2月15日
精神保健福祉業務実務者研修会	2月24日
障害者虐待防止対応事例検討会	2月24日
ゲートキーパーフォローアップ研修	3月9日
社協 人権研修会（障害者差別解消法）	3月16日
柳川市社協 障害福祉相談室「きらり」視察研修	3月17日
講演会（精神障害者と一緒に暮らせる社会を目指して）	3月7日
障害者施設・事業所職員研修	3月18日

（４）宗像市登録手話通訳者等派遣事業

■事業説明：聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため他者との意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に対し、市が登録した手話通訳者または要約筆記者を派遣し、意思疎通の円滑化を図ることを目的に事業を実施。

■派遣申請者数（人数）

派遣申請者数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	43	31	20

■派遣内容（件数）

項目／月	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①手続・相談	12	9	2
②医療	49	28	24
③職業	0	0	0
④教育	5	0	0
⑤会議・講演	0	0	0
⑥その他	1	1	0
計	67	38	26

■派遣区分（件数）

項目／月	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①手話通訳等	51	23	19
②要約筆記等	16	15	8
計	67	38	27

（５）宗像市障害者虐待防止センター事業

①宗像市障害者虐待防止センター事業実績報告

■事業説明：「障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により平成24年度から宗像市の委託事業として受託。障害者虐待の早期発見と発生防止、ならびに障害者虐待が起きないように個々のケース対応を充実するとともに、市民や障害者福祉サービス事業者への周知が主な役割。

項目／月		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
■ 対応件数	①通報受理	2 件	11 件	6 件
	②事実確認実施	1 件	15 件	12 件
	③虐待と判断	1 件	2 件	0 件
	④相談・指導・助言	11 件	23 件	4 件
■ 実人数		6 人	11 人	6 人

②家庭訪問等個別支援事業

■ 障害者虐待の未然防止のため、過去に虐待があった障害者の家庭等を訪問し家族関係の修復や不安の解消に向けた支援を行う。

■ 家庭訪問件数：1 件

■ 人数：1 人

③宗像市障害者虐待防止研修会の実施

■ 事業説明：障がい者への虐待防止ならびに早期発見、適切な援助につなげるため、市内の相談支援事業所等を対象に障害者虐待防止法の理解と権利擁護への理解を深める研修を実施した。

■ 実施日：平成 27 年 12 月 9 日※障害者の日

■ 場 所：メイトム宗像 202 会議室

■ 参加者：市内の障害福祉事業所職員等 50 人

■ 内 容：「強度行動障害と虐待について～行動には必ず原因と意味がある～」

■ 講 師：福岡市立心身障がい福祉センター「あいあいセンター」
センター長（小児科医） 宮崎 千明 氏

14 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

■ 宗像市指定管理運営事業

(1) 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

■ 事業説明：大島福祉センター「ふれ愛センター」の指定管理を受け社会福祉協議会が運営している。

■ 運営体制：●館長（兼任）1 人 ●事務員 1 人

■ 大島福祉センター「ふれ愛センター」年間利用者集計表

	高齢者	一 般	中学生以下	島 外	計	対前年比較
平成27年度	2,082 人	473 人	36 人	181 人	2,772 人	-83 人
平成26年度	2,089 人	528 人	42 人	196 人	2,855 人	155 人
平成25年度	1,732 人	735 人	33 人	200 人	2,700 人	

■ 利用施設別のべ利用者数

	1 階和室	2 階会議室	いこいの部屋	調理実習室	計	対前年比較
平成27年度	2,690 人	16 人	46 人	1,860 人	4,612 人	-147 人
平成26年度	2,708 人	79 人	88 人	1,884 人	4,759 人	398 人
平成25年度	2,556 人	86 人	39 人	1,680 人	4,361 人	

■ 施設利用料金実績ならびに施設稼働日数

	稼働日数 (日)	1 階和室 (円)	2 階会議室 (円)	調理実習室 (円)	計	対前年比較
平成27年度	254 日	5,750 円	0 円	0 円	5,750 円	-1,820 円
平成26年度	256 日	7,570 円	0 円	0 円	7,570 円	-30,980 円
平成25年度	256 日	27,400 円	3,350 円	7,800 円	38,550 円	

(2) 大島福祉センター「ふれ愛センター」健康・福祉ミニまつりの開催

■実施日：6月27日（土）

■内 容：健康ミニ講座「テーマ：夏の皮膚の守り方&熱中症対策について」、身体測定コーナー、
 血圧測定、骨密度測定、テーピング指導、アロマオイルマッサージ、お茶の間筋トレ、ポ
 ップコーンコーナー、ランチョンミーティング、お楽しみ抽選会など

■参加者：82人

15 介護保険事業の適切な運営

(1) 訪問介護事業

■事業説明：介護保険利用者の訪問介護計画に基づき、自立支援を目標とした介護サービスの提供
 を行う。（介護予防訪問介護事業含む）

延べ利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	1,756 人	1,693 人	1,451 人
	対前年比較	-63 人	-242 人

新規利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	31 人	40 人	34 人
	対前年比較	9 人	-6 人

要介護度別延べ利 用者数 (単位：人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年 比 較
平成 27 年度	379	433	402	188	3	33	13	1,451	-242
平成 26 年度	464	552	408	207	18	33	11	1,693	-63
平成 25 年度	461	617	363	221	52	33	9	1,756	

■介護サービス種別サービス提供時間数

項目／月	生活援助	身体介護	身体生活	介護予防	計	対前年比較
平成 27 年度	3,248.5h	875.0h	586.0h	3,691.5h	8,401.0h	-2,420.0h
平成 26 年度	4,440.0h	850.5h	838.0h	4,692.5h	10,821.0h	-805.0h
平成 25 年度	5,152.0h	967.0h	526.5h	4,980.5h	11,626.0h	

(2) 居宅介護支援事業

■事業説明：介護保険利用者の立場に立ち、居宅介護支援サービスの作成・管理・更新等を行い個々
 の利用者に最適な介護サービスの提供を行う。（介護予防支援事業含む）

要介護度別延べ利 用者数 (単位：人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年 比 較
平成 27 年度	176	388	875	709	221	193	101	2,663	-41
平成 26 年度	272	392	958	648	183	160	91	2,704	214
平成 25 年度	183	435	875	568	186	147	96	2,490	

【介護給付】 延べ利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	1,872 人	2,044 人	2,099 人
	対前年比較	172 人	55 人

【予防給付】 延べ利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	618 人	660 人	564 人
	対前年比較	42 人	-96 人

新規利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	76 人	60 人	47 人
	対前年比較	-16 人	-13 人

16 指定障害サービス事業の適切な運営

(1) 居宅介護事業・同行援護事業

■事業説明：障がい者の介護、家事の支援や視覚障害者の外出支援を行う。

利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	257 人	204 人	161 人
	対前年比較	-53 人	-43 人

サービス提供時間	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	2,398.5h	1710.5h	1,228.0h
	対前年比較	-688.0 h	-482.5h

17 市受託事業の適切な運営

(1) 生活管理指導員事業

■事業説明：市が必要と認めた高齢者世帯と単身高齢者に対し、日常生活上の支援・指導を行う。

利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	100 人	37 人	32 人
	対前年比較	-63 人	-5 人

サービス提供時間	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	281.0h	105.0h	82.5h
	対前年比較	-176.0 h	-22.5h

(2) 地域生活支援事業（移動支援）

■事業説明：障害者の外出支援を行う。

利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	50 人	48 人	44 人
	対前年比較	-2 人	-4 人

サービス提供時間	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	199.0h	214.0h	248.5h
	対前年比較	15.0h	34.5h

(3) いきがい活動通所事業（大島ミニデイサービス）によるホームヘルプサービス事業

■事業説明：虚弱高齢者、単身高齢者などに、生きがいくくりや心身機能の維持向上を図るために、食事や入浴、レクレーションなどの活動を行う。

利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	231 人	250 人	241 人
	対前年比較	19 人	-9 人

(4) 要介護認定調査業務

■事業説明：市から委託を受けて要介護認定調査を行う。

要介護認定調査件数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	2,735 件	2,769 件	2,191 件
	対前年比較	34 件	-578 件

18 スマイルハート事業

(1) スマイルハート事業

■事業説明：介護保険適応外の家事援助サービス及び身体介護サービスを提供し、在宅での自立支援を行う。

延べ利用者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	376 人	305 人	291 人
	対前年比較	-71 人	-14 人

サービス提供時間	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	2,409.5 h	1,752.0h	1,554.5h
	対前年比較	-657.5h	-197.5h

19 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■宗像市委託事業

(1) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■事業説明：さまざまな障がいのある子どもたちとその保護者を、通園の方法により療育を行い、支援していくことを目的として設置された施設。実施主体は宗像市で社会福祉協議会が受託・運営している。

■事業内容：

- ・保育活動を中心とした総合的な療育と支援を行う。
- ・作業療法士による機能訓練、感覚統合訓練や言語聴覚士によるコミュニケーション支援とともに、子どもに関する悩みをそれぞれの専門の先生方が聞き、相談に応じる。
- ・水泳の指導を専門の指導員が週一回行う。（金曜日）
- ・嘱託医による定期的な健診やカンファレンスにより、子どもの発達を医学的な見地からみる。

■運営体制

①園長（兼任）：1人	②児童発達支援管理責任者：1人	③専任指導員：3人	④ 作業療法士：1人
⑤言語聴覚士：1人	⑤ プール指導員：1人	⑥ 臨時指導員：2人	⑦ 託児スタッフ：6人
⑨嘱託医：1人			

(2) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業実績

①年齢別男女別障害別園児状況

年齢	男子	女子	障害区分								累計
			発達障害			知的障害	視覚障害	聴覚障害	重複障害	その他	
			ASD		未診断						
			知的有	知的無							
1歳	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	2
2歳	4	0	1	0	1	1	0	0	1	0	4
3歳	9	6	1	3	8	0	0	0	1	2	15
4歳	24	7	5	1	20	2	0	0	2	1	31
5歳	26	4	7	1	15	5	0	1	0	1	30
6歳	28	11	7	4	24	2	0	0	1	1	39
計	91	30	21	9	68	11	0	2	5	5	121

②年度・年齢別園児数

※単位：人

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1歳	1人	1人	2人
2歳	9人	4人	4人
3歳	23人	15人	15人
4歳	18人	30人	31人
5歳	41人	29人	30人
6歳	40人	56人	39人
計	132人	135人	121人

③園児数の推移

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
入園者数	62人	48人	52人
退園者数	47人	44人	67人

④療育日と人数の実績

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
療育日数	244日	243日	241日
実績延人数	3,063人	2,865人	2,734人
一日平均利用人数	12.5人	11.8人	11.3人

⑤兄弟児託児状況

- 事業説明：親子通園は、保護者が子どもとしっかりと向き合い共に療育することを目的としている。よって利用者に兄弟児がいる場合は、兄弟児の託児保育を行っている。また勉強会・保護者会などに保護者が安心して参加・集中できるように兄弟児の託児を行っている。託児の利用料は一回につき500円。

■利用状況

延べ利用人数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	368人	369人	310人

⑥送迎利用状況

延べ利用回数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	578回	344回	123回

(3) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」訓練等の状況

①言語聴覚士の関わり

■週3回程度。その他、個人懇談・関係機関との連携等

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
個別検査・訓練	288人	310人	364人
集団ことば遊び	13回	17回	14回

②作業療法士の関わり

■週1回程度。その他、個人懇談・関係機関との連携等

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
個別検査・訓練	153人	156人	151人
集団ことば遊び	4回	0回	0回

③個別保育

延べ利用人数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	550人	507人	472人

④嘱託医の健診・ケースカンファレンス

実施時期	参加者数	主な活動内容
6月24日	3人	内容：ケースカンファレンス
7月22日	3人	内容：嘱託医健診
10月28日	3人	内容：ケースカンファレンス
11月25日	2人	内容：嘱託医健診
2月24日	3人	内容：ケースカンファレンス

(4) ぱんだルームの状況

■事業説明：宗像市乳幼児健診後のフォロー事業として、専門的な支援が必要な幼児を対象に、遊びを通して子どもの発達と子育てを支援。月に2回程度開催。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実施回数	18回	17回	18回
延べ利用人数	135人	99人	148人
兄弟児数	63人	10人	49人

(5) その他の取り組み

①児童福祉法に基づく宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の経営方針の検証

■実施内容：

- 園内での感染症等予防対策として、来園時に利用園児及び兄弟児の検温を必ず行った。
- 6月に「げんきっこくらぶ ほっぷ」の視察を行い、他事業所での療育内容や運営体制等について情報交換を行うとともに、地域の療育支援事業における現状について意見交換を行った。
- 8月に「らいく」飯塚店の視察研修を行い、他事業所の経営状況や支援体制について情報交換を行った。
- 8月に利用園児の状況や利用人数の推移、それに伴う職員配置の状況と現在の問題点などについて、中間報告・評価及び業務改善の報告書を作成し、発達支援センターの報告を行った。
- 報告書をもとに、本園内で検討を行い、9月より利用園児のニーズに沿った療育内容に変更を行った。
- 10月に開所した「らいく」宗像店の視察研修を行い、施設環境や療育形態等について情報交換を行った。

②保育所、幼稚園、小学校への訪問支援の取組

■事業説明：園児が、各保育所及び幼稚園、小学校への入園・入学が円滑に行えることや、安定した園生活が過ごせるためのサポートとして実施。

■実施内容：6月、10月、2月の面談での聞き取りの中から、保護者から出た相談内容をもとに園や学校と情報交換等を行った。また、春休み期間を利用して学校との情報交換を行った。その他に、保護者や各園からの要望に応じて随時情報交換を行った。

③職員の資質向上に向けた症例検討会や園内研修会の実施

■実施内容

実施日	主な活動内容
5月1・15日	「安全管理」に関する研修会
6月19日	ケース検討会の実施
8月7日	「記録記載について」の用紙見直しの検討会
11月6・7日	「地域における発達支援」の研修会

④保護者向け勉強会の実施

■実施内容

実施日	主な活動内容
5月21日	テーマ：「ことばを育む関わり」 講師：言語聴覚士 松延 孝代 参加人数：23人
7月7日	テーマ：「リトミックについて」 講師：作業療法士 藤川 貴子 参加人数：7人
11月26日	テーマ：「リラックス気分でちよい運動！」 講師：幼児体育 中村 洋子 参加人数：7人
12月2日	テーマ：「サーポートブックづくり」 講師：各スタッフ（4人） 参加人数：18人
1月28日	テーマ：「のぞみ園療育と子どもの発達について」 講師：児童発達支援管理責任者 新塘 元哉 参加人数：9人

平成 27 年度

事業報告書資料集

■ 社会福祉協議会の概況

(1) 社会福祉協議会の位置づけ

- ◇社会福祉法第 109 条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」と規定されている「社会福祉法人」で、一般的には「社協」と呼ばれています。
- ◇社会福祉協議会の事業は、「高い公共性」とともに地域の福祉課題への「先駆的・開拓的」事業展開が特徴で、「住民主体・住民参画・利用者本位の三原則」を特に尊重しています。
- ◇社会福祉協議会の事業は、原則として地域福祉活動計画に基づいて実施されています。

(2) 宗像市社会福祉協議会の位置づけ

本会は、前記の法的位置づけ、ならびにその特徴と事業実績により、宗像市の総合計画や各種福祉計画には、福祉行政の一翼を担い、民間の福祉活動を推進する中心的な団体として位置づけられてきた歴史があります。

(3) 宗像市社会福祉協議会の活動方針

平成 27 年 5 月に第 3 次計画の見直しと次代に適應する社会福祉協議会活動の基本理念や実施計画等を取りまとめた第 4 次地域福祉活動計画（計画年度：平成 27～36 年度。以下「第 4 次計画」という。）を策定しました。この計画には、本会の基本的な活動方針として以下の項目を掲げています。

- ①住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- ②住民自治活動としての地域福祉の推進
- ③社会的包摂にむけた生涯学習としての福祉教育の推進
- ④行政および地域福祉団体などの協働者としての社会福祉協議会の確立
- ⑤利用者本位の福祉サービス供給体制の強化
- ⑥法人経営体制の強化

また、第 4 次計画の第一章第二節第一項の「めざすべき地域社会像」では、第 1 次計画から第 3 次計画まで継承してきた未来ビジョン（将来像）・地域イメージ（地域社会像）「市民とともに創造する福祉の里」見直し、将来を充分考慮した新たな「福祉の里とともにいきるまち宗像」に改めました。

「福祉の里とともにいきるまち宗像」とは、

- ①地域で隣近所の生活者の顔が見え、**ふ**だんの**く**らしの**く**あわせが感じられる地域
- ②子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた地域福祉を共に学び合い、実践し、地域福祉に関する社会サービスを豊かにし、誰もが共に生きがいを共有できる地域
- ③地域の福祉・介護・健康・防災等の問題を、特定の個人や家庭の問題にしないで、みんなの問題として解決方法を考え、地域住民としてできる助け合いが日常的に行われている地域

(4) 本会の経過

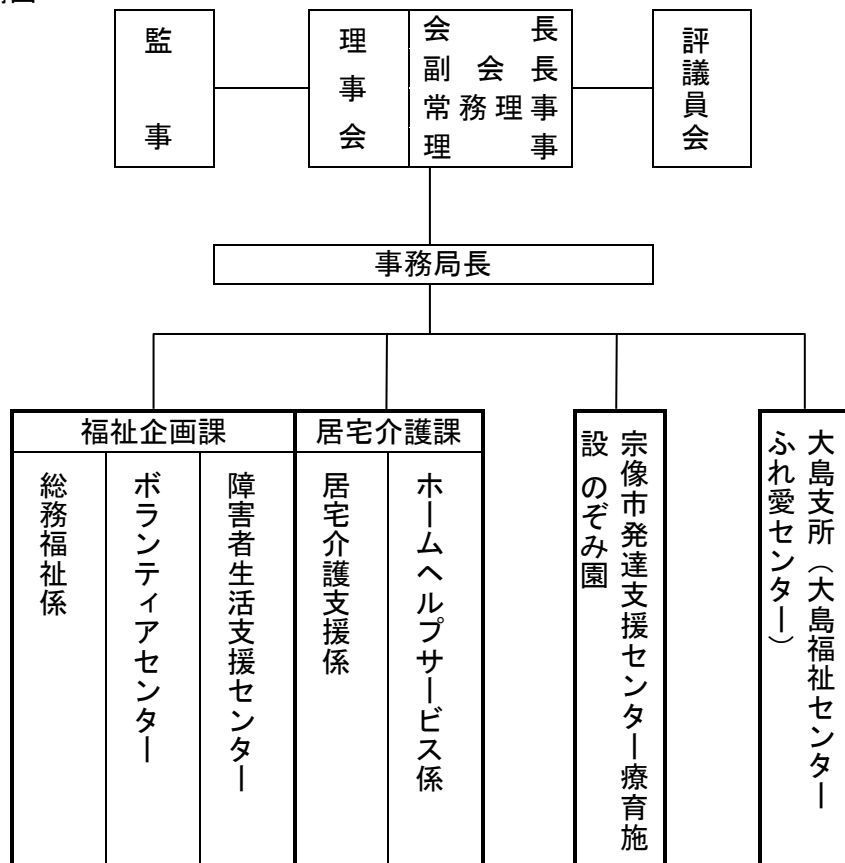
年 度	主な内容
昭和 34 年	・任意団体として宗像町社会福祉協議会が発足
昭和 45 年	・社会福祉法人として認可
～昭和 57 年	・東部児童館事業受託 ・ボランティア育成事業開始
昭和 60 年	・福祉ボランティア活動連絡協議会設立 ・宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書策定
昭和 61 年	・福祉教育推進指定校事業開始
昭和 62 年	・小地域福祉会組織化事業開始（地区福祉懇談会開始） ・障害児通園事業「のぞみ園」受託
昭和 63 年	・宗像ユリックス内に社会福祉センター完成・本会移転 ・愛のネットワーク活動、福祉の里づくり事業開始 ・自由ヶ丘地区社会福祉会発足 ・電話訪問相談事業開始（～平成 10 年度）

平成元年	・やさしさ宅配人（愛のネットワーク活動協力員）登録事業開始
平成 8 年	・第一次地域福祉活動計画書策定
平成 9 年	・在宅介護者組織化事業開始
平成 10 年	・総合保健福祉センター「メイトム宗像」完成・本会移転
平成 12 年	・介護保険制度の実施にともない居宅介護支援事業・訪問介護事業開始 ・要介護認定調査業務・軽度生活援助事業受託 ・障害者生活支援事業受託
平成 13 年	・ボランティアセンター事業受託 ・在宅介護者の会ひまわり発足、在宅介護者組織化事業から支援事業へ
平成 14 年	・宗像市・玄海町社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・（新）宗像市社会福祉協議会誕生（平成 15 年 3 月 31 日）
平成 15 年	・玄海 4 地区に小地域福祉会の組織化
平成 16 年	・宗像市・大島村社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・（新）宗像市社会福祉協議会誕生（平成 17 年 3 月 31 日） ・第二次地域福祉活動計画書策定
平成 17 年	・社会福祉協議会福祉教育推進計画書策定
平成 18 年	・機能訓練 B 型（いきいきふれあいサロン）事業を介護予防いきいき交流会事業へ移行 ・障害者自立支援法による指定相談支援事業、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業を開始
平成 20 年	・「メイトム宗像」が市民活動交流館としてリニューアル ・「宗像市ボランティアセンター」が市民活動ボランティア NPO センターの一部となる ・「のぞみ園」が発達支援センター療育施設の一部となる
平成 21 年	・地域福祉の推進に関する市民の意識調査を実施 ・非常・災害時職員行動計画書（平成 21 年度版）作成 ・第三次地域福祉活動計画策定委員会設置
平成 22 年	・第三次地域福祉活動計画書策定 ・第二次経営改善計画策定 ・市窓口ワンストップサービス化にともない障害者生活支援センターが宗像市役所内に移転
平成 23 年	・第二次福祉教育推進計画策定 ・東日本大震災救援・復興ボランティアとして職員を派遣
平成 24 年	・市保健福祉会館（ゆうゆうぷらざ）の閉館に伴い本会玄海支所を廃止 ・障害者基幹型相談支援センター事業を受託 ・宗像市障害者虐待防止センター事業を受託 ・宗像市社協自動販売機設置開始
平成 25 年	・ライフサポート事業開始 ・認知症サポーター養成講座事業を受託
平成 26 年	・福津市・古賀市社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結 ・宗像青年会議所と災害時相互協力協定を締結
平成 27 年	・第四次地域福祉活動計画書策定

(5) 本会理事・評議員選出区分（平成26年5月末日以降）

理事 選出区分	定数	評議員 選出区分	定数
宗像市コミュニティ運営協議会長会	1	宗像市コミュニティ運営協議会長会	7
宗像市民生・児童委員協議会	1	宗像市民生・児童委員協議会	3
障害者福祉団体	1	宗像市老人クラブ連合会	2
宗像市老人クラブ連合会	1	地区福祉会連絡協議会	2
宗像市	1	福祉団体	3
社会福祉法人	1	宗像市保護司会	1
識見を有する者	3	宗像青年会議所	1
社会教育関係	1	宗像地区保育所連盟	1
福祉ボランティア活動連絡協議会	1	社会福祉施設	1
地区福祉会連絡協議会	1	市民福祉活動団体	1
		宗像市商工会	1
		保健・医療関係団体	1
		福祉行政職員	1
		教育行政職員	1
		市民公募による者	1
計	12	計	27

(6) 本会機構図



■用語の説明

【あ】

ICF

ICFは、2002（平成13）年にWHOが発表した国際生活機能分類である。ICFは、人間の生活機能と障がいについて「心身機能・身体構造」「活動」「参加」の三つのレベルで構成される「生活機能」としてとらえる。この三つのレベルは、「生命」「生活」「人生」と言い換えることができる。「生活機能」の三つのレベルが相互に、また「健康状態（疾患等）」や「背景因子（環境因子と個人因子）」との間で、相互作用を行うことを重視するのがICFの生活機能モデルである。

いきいきふれあいサロン

当初福祉会が行っていた「ふれあい会食会」や「楽しく食べて語ろう会」などの【ふれあい活動】に、介護予防いきいき交流会事業（市委託事業）による在宅虚弱高齢者への介護予防活動や簡単な健康チェック、機能訓練などを行う【いきいき活動】が取り入れられた事業。高齢者のとじこもり防止の要素もある。活動内容は、口腔ケアや栄養指導、運動指導などの介護予防活動と簡単な健康チェック、学習会、機能訓練（レクリエーション）、交流事業などである。また、「いきいきふれあいサロン」に参加できない（参加しない）高齢者への対応として、小地域ネットワーク活動との連携強化をすすめている。

【か】

限界集落

山間地や離島において過疎化などで人口の50%が65歳以上の高齢者になり、自治会活動や冠婚葬祭など地域的共同生活（活動）の維持が困難になった集落のこと。

声の広報活動

視覚に障がいがある人々へ、宗像市の広報紙などをCD-Rやカセットテープに録音して情報を届ける本会の障がい者福祉活動。現在「日の里テープの会」「日の里いずみの会」「森林都市うぐいす」の3団体にこの活動を委託している。

【さ】

社会的包摂

ソーシャルインクルージョン（social inclusion）は、「社会的排除」の問題を解決する社会政策の理念として語られる「社会的包摂」と同意語である。「排除と包摂」という概念は、古くから用いられてきたが、これらが社会政策の重要な概念として登場するのは20世紀後期のヨーロッパにおいてである。特にフランスでは、1970年代以降、社会的不適応者（薬物依存者や非行少年など）や若年長期失業者、移民労働者など、既存の福祉国家の枠組みでは対応することが困難な人々の抱える問題が「新たな貧困」や「社会的排除」などの社会問題として認識されるようになり、このような人々を社会復帰させることが、社会政策上重要だと考えられるようになった。

社会福祉法第四条

地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

小地域ネットワーク活動

主に民生委員と福祉会の地域ケア型ボランティア（名称は福祉委員や福祉員など様々）が協力して、単身高齢者・高齢者夫婦のみ世帯などの定期的な見守り・訪問活動、情報提供活動、できる範囲での生活援助活動などを行っている。小地域ネットワーク活動は、昭和63年に民生委員協議会創設記念事業「愛のネットワーク活動」として福岡県では開始されたが、現在では、福祉会などの日常的な「生活支援活動」として取り組まれている。

スマイルハート

宗像市社会福祉協議会独自の家事援助・軽介護サービス。障がい者や高齢者世帯等を対象に日常生活に必要な家事援助・軽介護サービスをホームヘルパーが提供し、在宅で自立した生活ができるように支援する有償サービス。

生活困窮者世帯

厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」の報告書では、「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」が主な支援対象者として想定されているが、「地域から孤立している者」「複合的な課題を抱えている者」への対策の必要性も掲げられている。つまり、この報告書における生活困窮者とは、「経済的困窮」「孤立」「複合的課題」などの生活・地域問題を抱える人々のことで、具体的には「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」や「ひきこもりの人」や「ゴミ屋敷生活している人」、「ホームレス」「生活困難を抱える精神・知的・発達障がいがある人」などと考えられる。

生活福祉資金貸付制度

低所得者（離職者）または障がい者、高齢者を対象に、小口の資金貸し付けと必要な援助、指導を行うことにより、その経済的自立および生活意欲の助長促進、ならびに在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的とした制度。実施主体は、福岡県社会福祉協議会。

ソーシャルインクルージョン（social inclusion）

※「社会的包摂」参照

【た】

地域包括ケアシステム

「地域包括ケアシステム」とは、介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制のこと。

【な】

ノーマライゼーション

一般的には「共生社会」と訳されることが多い。どのような障がい者や高齢者、児童であっても人格を尊重され、人として同じ権利を享受し、地域社会（在宅）で主体的な生活と社会参加が保障されるのが正常（ノーマル）な社会であるという思想に基づき、地域の人々の正常な生活を実現していく取り組みを意味する。今日的には地域福祉や共生の基本的思想である。

【は】

ファンドレイジング

ファンドレイジング（Fundraising）とは、民間非営利団体（NPO）が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称。主に民間非営利組織の資金集めについて使われる用語。社協では「自主財源の確保」に関連する事業に使われる。

福祉会

生活課題、福祉問題を抱える要援護者が生活する小地域を活動範囲とし、要援護者の福祉問題をその人だけの問題とせず、地域住民みんなの問題として捉え、その解決策を考えたり予防したりするために、地域住民が組織的に福祉活動を推進する住民の自主的な組織。現在一般には「福祉会」と呼ばれ、市内13コミュニティを活動範囲とする福祉会を「地区福祉会」、行政区を活動範囲とする福祉会を「小地域福祉会」という。



平成 27 年度福祉絵画コンクール中学生の部金賞受賞作品

テーマ：「思いやりの町」

作 者：河東中学校 松本 愛利香

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

平成 27 年度
事業報告書

〒811-3437 福岡県宗像市久原 180 番地
Tel : 0940-37-1300 Fax : 0940-37-1393
E-mail : info@syakyo.munakata.com